



操作ガイド

NYK SYSTEMS

インストールの手順

1. 管理者権限のあるアカウントで Windows にログインしてください。
2. 起動中の他のアプリケーションがあれば終了してください。
3. ホームページの「ダウンロード」(<https://www.nyk-systems.co.jp/download>)より、「レブレビューア(無償)」をクリックします。[お申込みフォーム]に必要事項を入力し送信していただくと、メールにてダウンロード URL を送付いたします。
ダウンロードした zip ファイルを解凍後、「RebroViewerInstaller.exe」をダブルクリックすると、インストーラーが起動します。
4. **RebroViewer** を起動させるために必要なソフトウェア(Microsoft VisualC++v14 Redistributable 再頒布可能パッケージ)がインストールされます。
※ユーザーアカウント制御のダイアログは「許可」を選択してください。
5. 使用許諾契約書が表示されますので、内容をご確認いただき、同意の場合は「使用許諾契約の条項に同意します(A)」を選択し、[次へ]をクリックします。
以降、画面の指示に従ってインストールを行ってください。
6. インストール完了後に **RebroViewer** を起動すると、インターネットを通じて最新のバージョンが存在するか確認されます。最新版があれば Web アップデートが起動します。
※ユーザーアカウント制御のダイアログは「許可」を選択してください。また、お使いのセキュリティソフトでインターネット接続が遮断される場合は「RebroViewerUp.exe」の通信を許可してください。

アンインストールの手順

[スタートメニュー]-[コントロールパネル]-[プログラム]-[プログラムと機能]を起動します。

[RebroViewer]を選択し、[アンインストール]をクリックします。

※ユーザーごとの設定ファイルは **RebroViewer** を再インストールしても利用できるように、パソコンに残ります。設定を削除する場合は以下のフォルダを削除してください。

C: ¥ユーザー¥(ログインユーザー名)¥AppData¥Local¥NYK Systems¥RebroViewer LocalData

動作環境

OS:Microsoft Windows11

グラフィック:DirectX12、もしくは DirectX9 が快適に動作するグラフィックボード

※InfiPoints 連携をご使用の場合、上記に加え OpenGL4.2 が快適に動作する必要があります

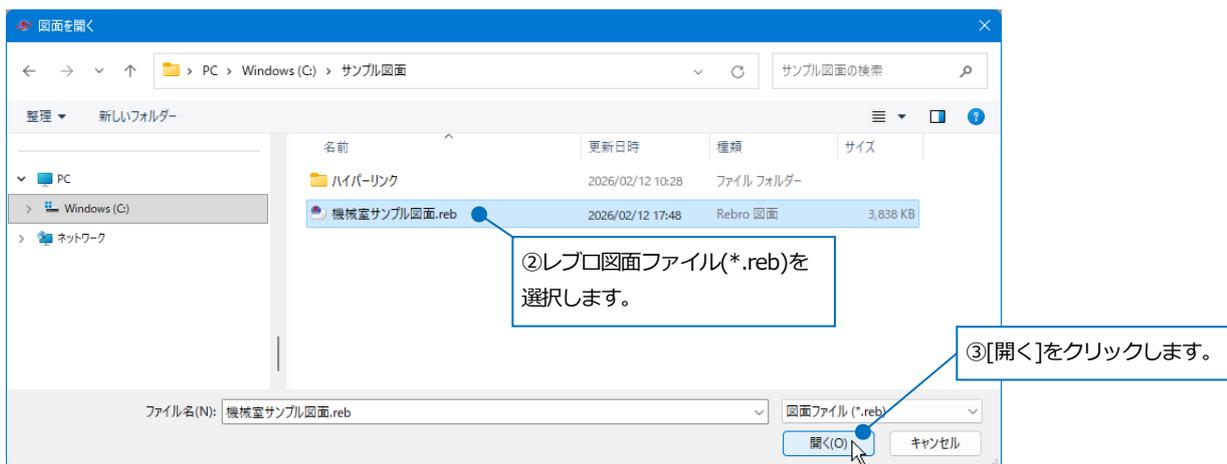
ディスプレイ解像度:フル HD1920×1080ドット以上

インターネット接続環境:必須 (Web アップデートに使用)

-
- RebroViewer は再配布可能な無償ビューアです。
 - RebroViewer は常に最新バージョンでご利用ください。図面を作図した「レブロ」より古いバージョンの「ビューア」を使用した場合、「レブロ」側で新しく追加された機能について正しく表示されない場合があります。
 - RebroViewer に関しての個別サポートは対応いたしかねます。

1. 図面を開く

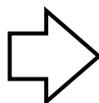
レプロ図面ファイルを開きます。



Memo

レプロビューアで開くことができるファイル形式はレプロ図面(*.reb)のみです。
[クラウドから開く]より、以下のクラウドストレージサービスを選択して図面ファイルを開くことができます。

- Box
- Autodesk Construction Cloud
- Catenda Hub
- Dropbox



2.表示の設定

画面の拡大、縮小、移動

・拡大/縮小

マウスの位置を中心に、ホイールの回転で画面を拡大、縮小します。

・指定拡大

拡大したい範囲を右ドラッグします。

※End キーで1 つ前の表示範囲に戻ります。

・画面移動

↑↓←→キーを押します。

ホイールのドラッグで画面を移動します。

画面の右と下に配置しているスクロールバーのドラッグでも移動します。

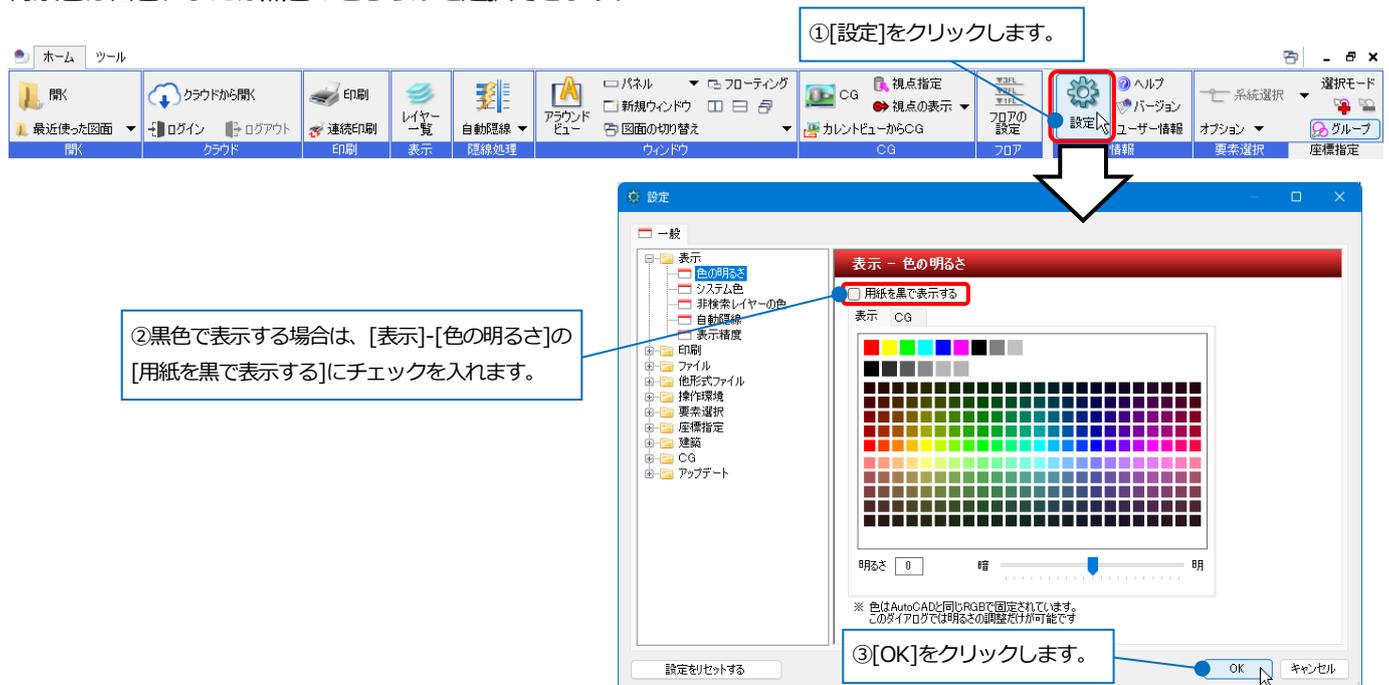
・全体表示

ステータスバーの[表示範囲のフィット]ボタンをクリックまたはHome キーを押します。



背景色の変更

背景色は白色、または黒色のどちらかを選択できます。



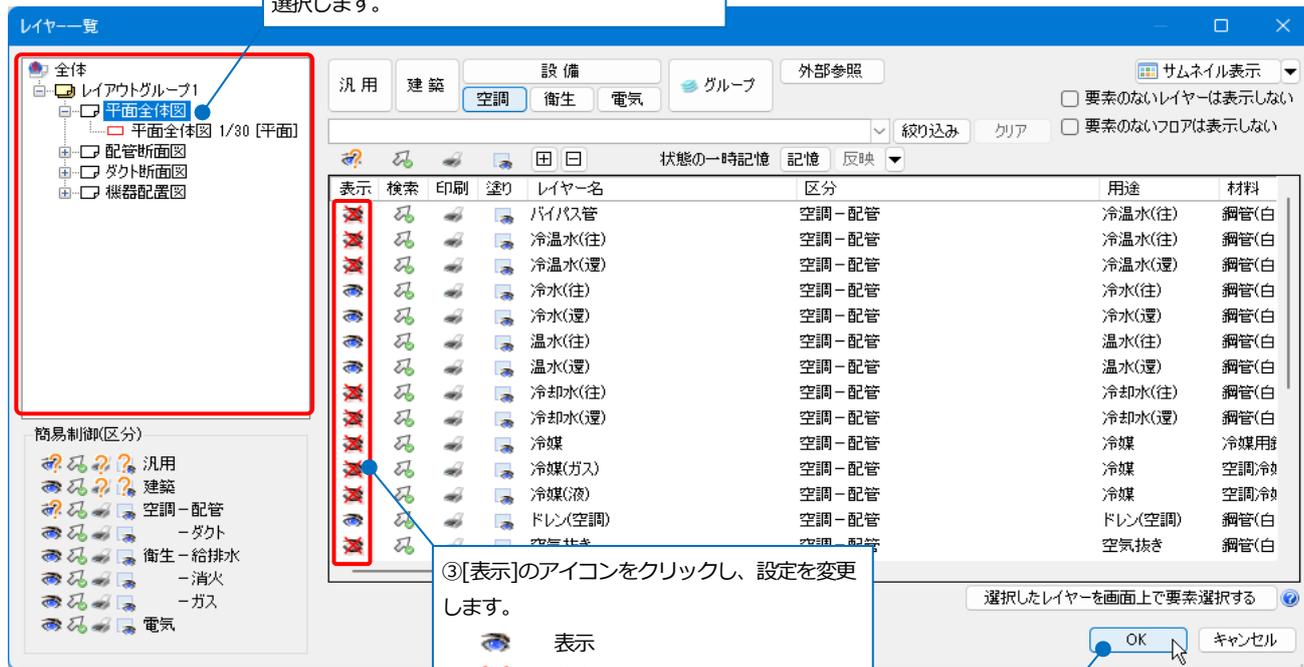
レイヤーの表示を切り替える

レイヤーごとに表示/非表示の切り替えができます。



①[レイヤー一覧]をクリックします。

②表示/非表示を切り替えるレイアウトやビューを選択します。



③[表示]のアイコンをクリックし、設定を変更します。

④[OK]をクリックします。

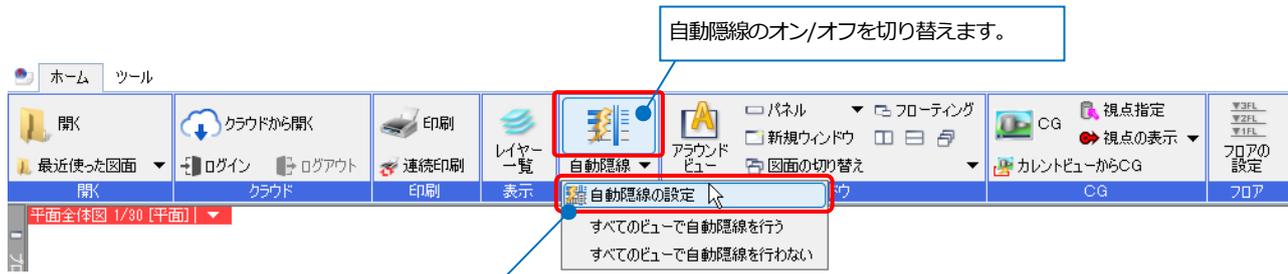


パネルで操作することもできます。

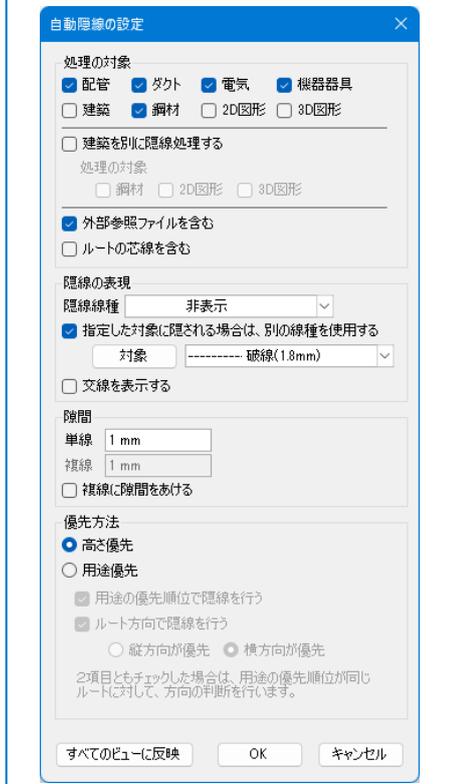


自動隠線の設定

開く図面に自動隠線が設定されている場合は、その設定が反映されます。

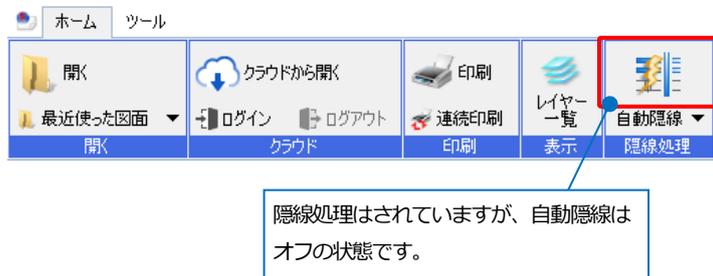


自動隠線の設定は[自動隠線]-[自動隠線の設定]から確認/変更ができます。



● 補足説明

手動隠線が設定されている図面の場合



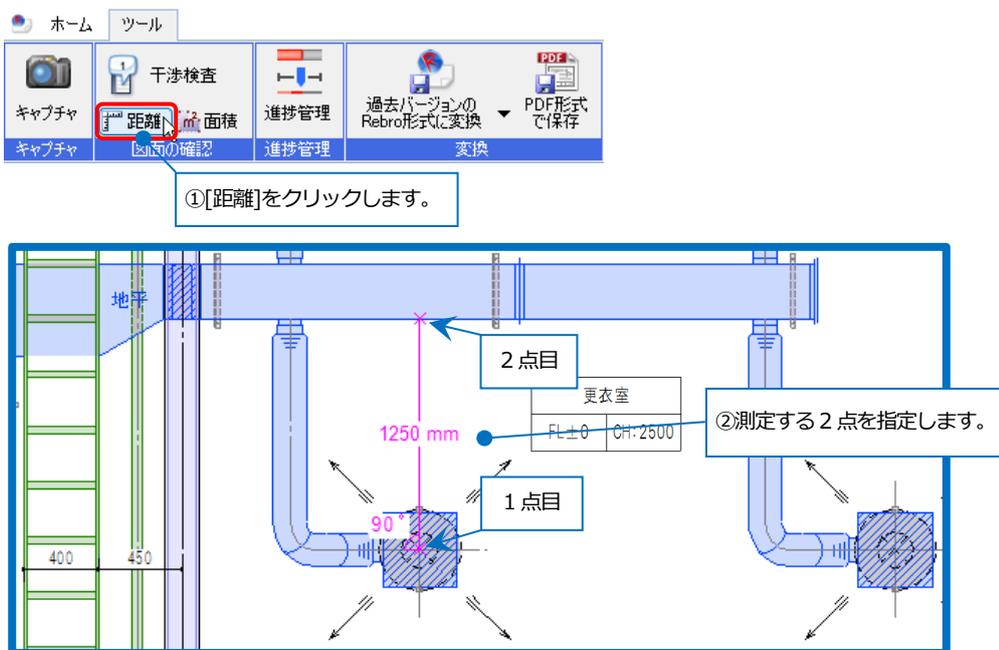
手動隠線を設定している図面に自動隠線処理をすると、自動隠線の設定内容に切り替わります。

再度手動隠線の状態を確認する場合は、図面を開き直してください。

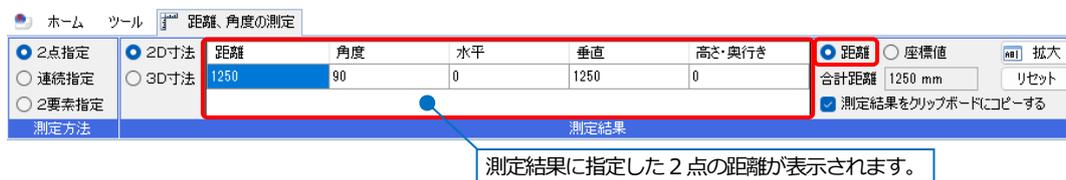
3.図面の確認

距離・角度の測定

指定した2点間の距離、座標値を求めることができます。



「距離」の場合



「座標値」の場合



面積の測定

頂点を指定して面積を測定します。

①[面積]をクリックします。

②頂点を指定し、コンテキストメニュー(右クリック)の[確定]をクリックします。

③測定結果がリボンに表示されます。

測定方法: 直線, 円弧(2点)

測定結果: 合計面積 0 m²

測定結果: 27.93 m², 合計面積 27.93 m²

フロアの確認

図面に設定されているフロア高さを確認できます。

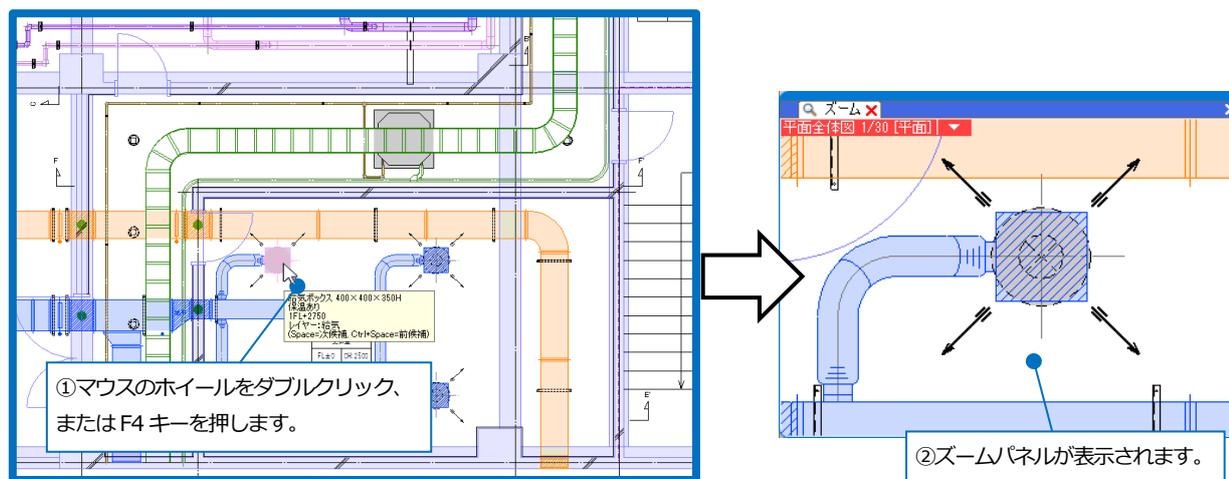
①[フロアの設定]をクリックします。

②階床名と階高の一覧を確認できます。

階床名	階高	Z座標値
2FL		5000
1FL	5000	0

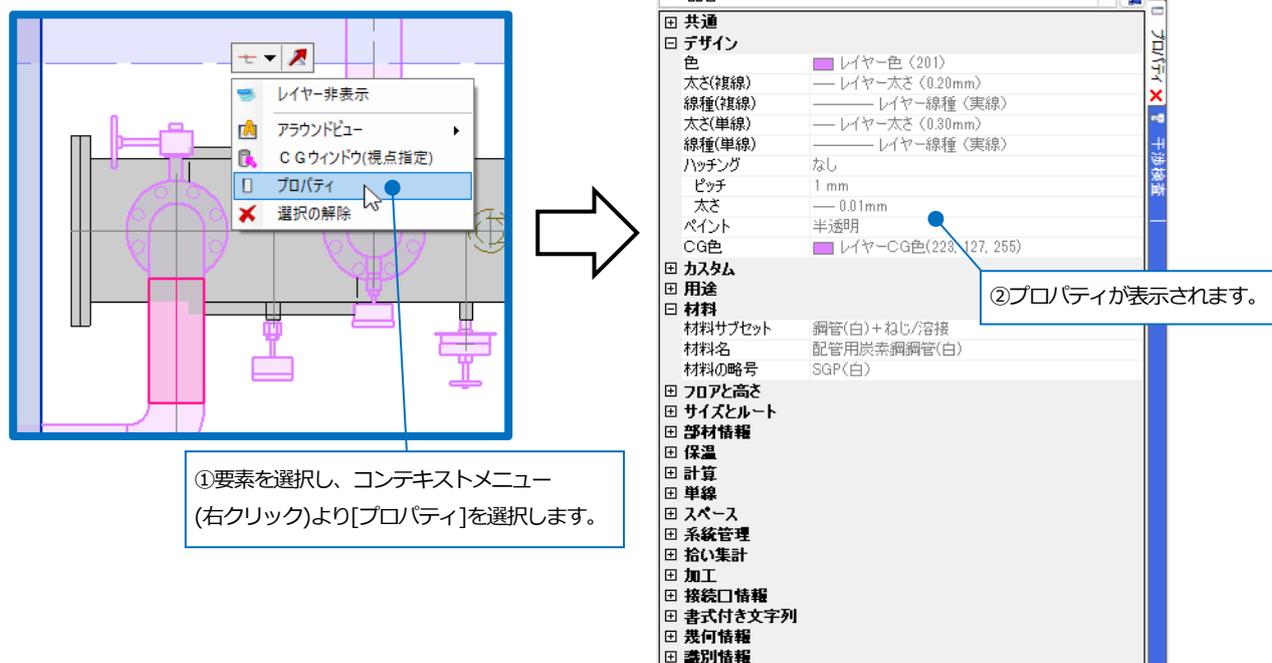
ズームパネル

図面上のマウスカーソル位置周辺を拡大表示します。



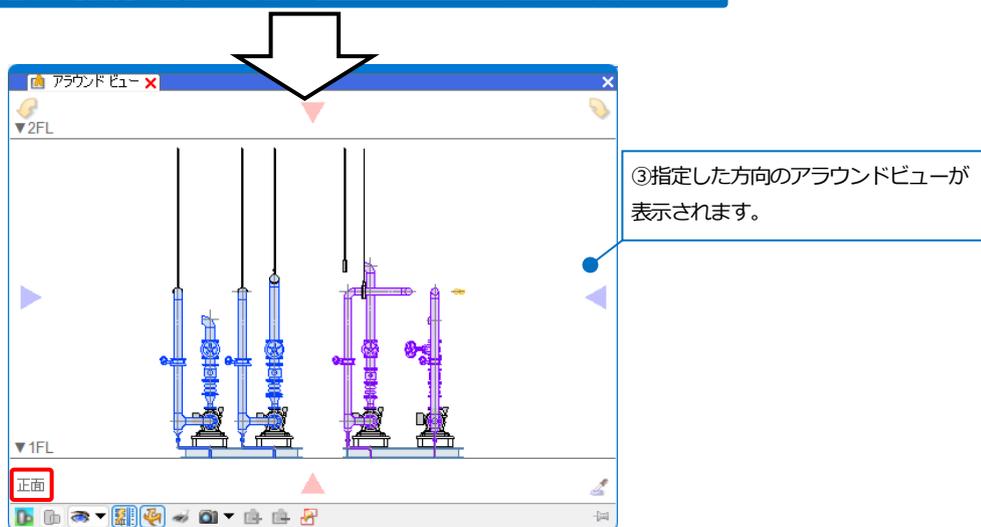
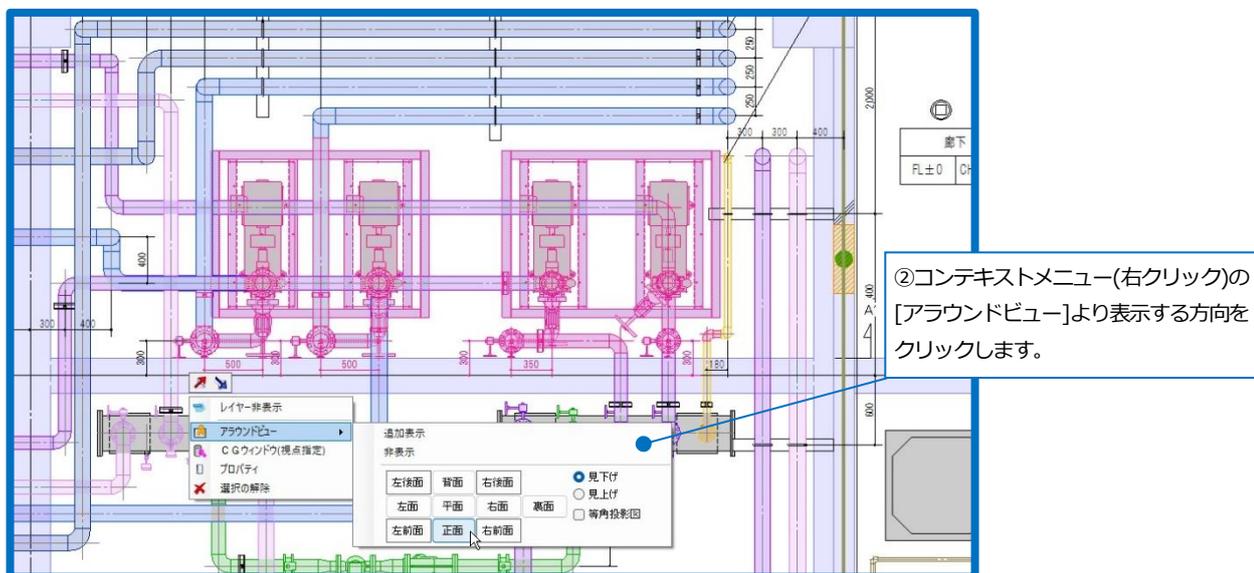
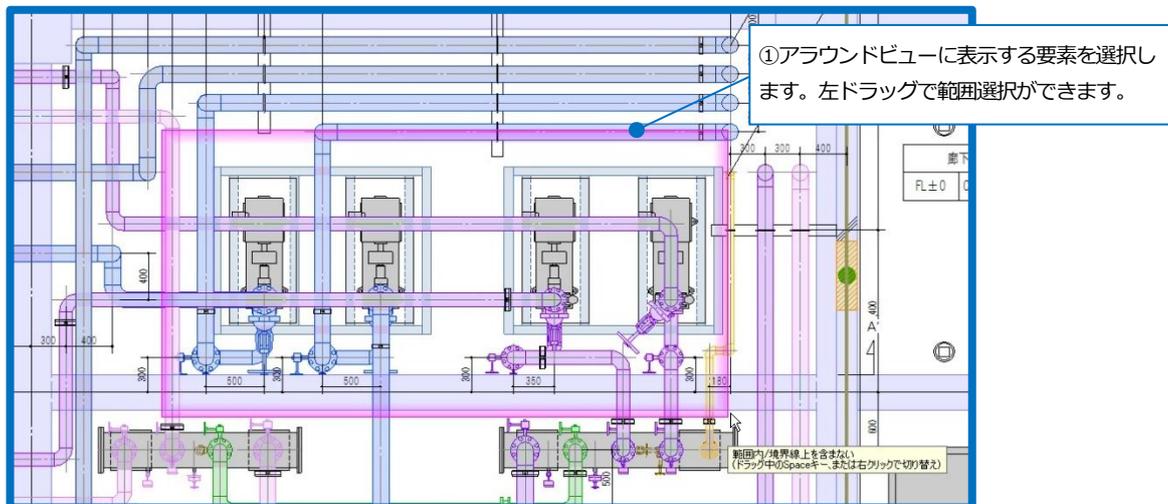
プロパティ

要素の属性の確認ができます。

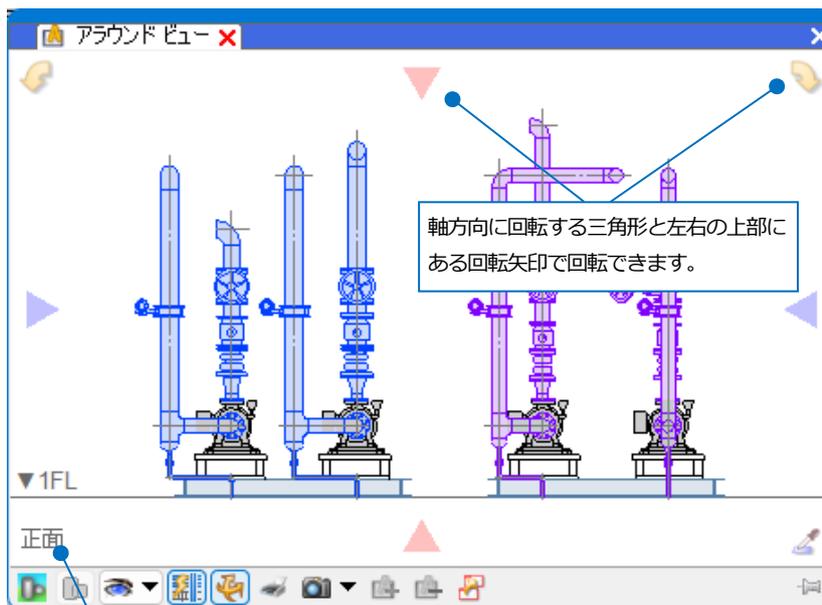


アラウンドビュー

選択した要素を別の方向から表示することができます。



アラウンドビュー上で視点の切り替えをすることができます。



左後面	背面	右後面	<input checked="" type="radio"/> 見下げ
左面	平面	右面	<input type="radio"/> 見上げ
左前面	正面	右前面	<input type="checkbox"/> 等角投影図

表示する方向を指定します。[角度指定]をクリックすると任意の方位角と仰角が指定できます。

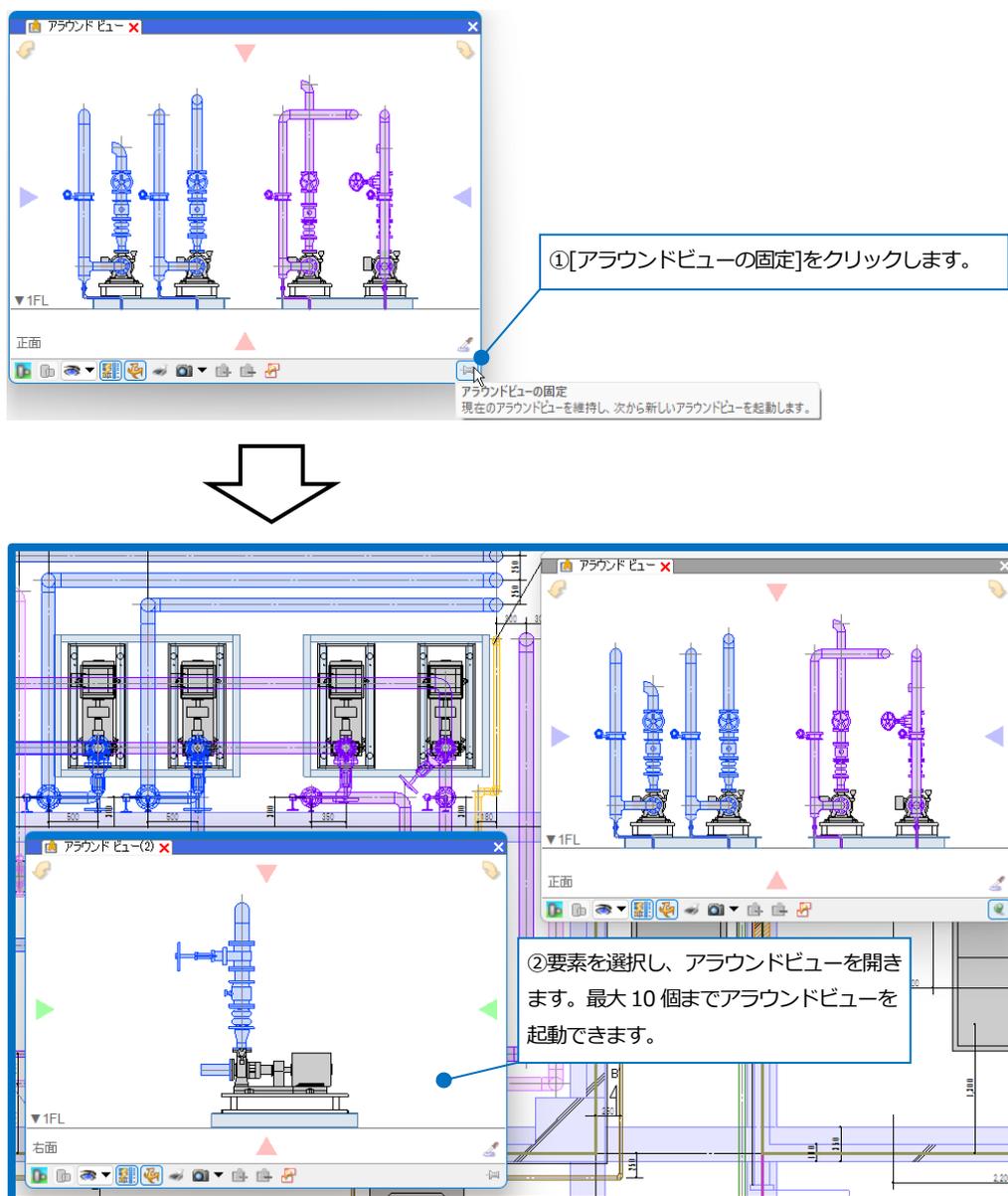
[基準の方位角]で設定した方位角を基準に視点を変更できます。アラウンドビューを起動する時に要素を選択したビューの視点に応じて自動で設定されます。

角度指定
 基準の方位角

	スポイトボタンをクリックし、図面上の線を選択すると、線の角度に合わせて視点を変更できます。		
	アラウンドビューをCG表示に切り替えます。		
	アラウンドビューのCG表示の透明度を変更します。		
	<table border="1"> <tr> <td> <p>要素の表示/非表示</p> <p>追加表示</p> <p><input type="checkbox"/> ビュー専用</p> <p><input type="checkbox"/> 平面ビュー共通</p> <p>補助線</p> <p><input type="checkbox"/> グリッド表示 <input type="button" value="設定"/></p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 通り芯</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> フロア線</p> <p><input type="checkbox"/> 原点</p> <p>単線/複線</p> <p><input type="radio"/> 複線表示</p> <p><input type="radio"/> 単線表示</p> <p><input checked="" type="radio"/> 元のまま</p> </td> <td> <p>アラウンドビューの表現を切り替えます。</p> <p>[要素の表示/非表示]要素タイプごとの表示/非表示とアラウンドビューのCGの透明度の設定ができます。</p> <p>[追加表示]ビュー専用要素・平面ビュー共通要素の表示/非表示を切り替えることができます。</p> <p>[補助線]グリッド、通り芯、フロア線、原点の表示/非表示を切り替えることができます。</p> <p>[単線/複線]アラウンドビュー上で単線、複線を切り替えることができます。</p> </td> </tr> </table>	<p>要素の表示/非表示</p> <p>追加表示</p> <p><input type="checkbox"/> ビュー専用</p> <p><input type="checkbox"/> 平面ビュー共通</p> <p>補助線</p> <p><input type="checkbox"/> グリッド表示 <input type="button" value="設定"/></p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 通り芯</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> フロア線</p> <p><input type="checkbox"/> 原点</p> <p>単線/複線</p> <p><input type="radio"/> 複線表示</p> <p><input type="radio"/> 単線表示</p> <p><input checked="" type="radio"/> 元のまま</p>	<p>アラウンドビューの表現を切り替えます。</p> <p>[要素の表示/非表示]要素タイプごとの表示/非表示とアラウンドビューのCGの透明度の設定ができます。</p> <p>[追加表示]ビュー専用要素・平面ビュー共通要素の表示/非表示を切り替えることができます。</p> <p>[補助線]グリッド、通り芯、フロア線、原点の表示/非表示を切り替えることができます。</p> <p>[単線/複線]アラウンドビュー上で単線、複線を切り替えることができます。</p>
<p>要素の表示/非表示</p> <p>追加表示</p> <p><input type="checkbox"/> ビュー専用</p> <p><input type="checkbox"/> 平面ビュー共通</p> <p>補助線</p> <p><input type="checkbox"/> グリッド表示 <input type="button" value="設定"/></p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 通り芯</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> フロア線</p> <p><input type="checkbox"/> 原点</p> <p>単線/複線</p> <p><input type="radio"/> 複線表示</p> <p><input type="radio"/> 単線表示</p> <p><input checked="" type="radio"/> 元のまま</p>	<p>アラウンドビューの表現を切り替えます。</p> <p>[要素の表示/非表示]要素タイプごとの表示/非表示とアラウンドビューのCGの透明度の設定ができます。</p> <p>[追加表示]ビュー専用要素・平面ビュー共通要素の表示/非表示を切り替えることができます。</p> <p>[補助線]グリッド、通り芯、フロア線、原点の表示/非表示を切り替えることができます。</p> <p>[単線/複線]アラウンドビュー上で単線、複線を切り替えることができます。</p>		
	自動隠線のオン/オフを切り替えます。		
	オンの状態で、マウスの右ドラッグでアラウンドビューを旋回します。要素を選択すると選択した要素を中心にして旋回できます。		

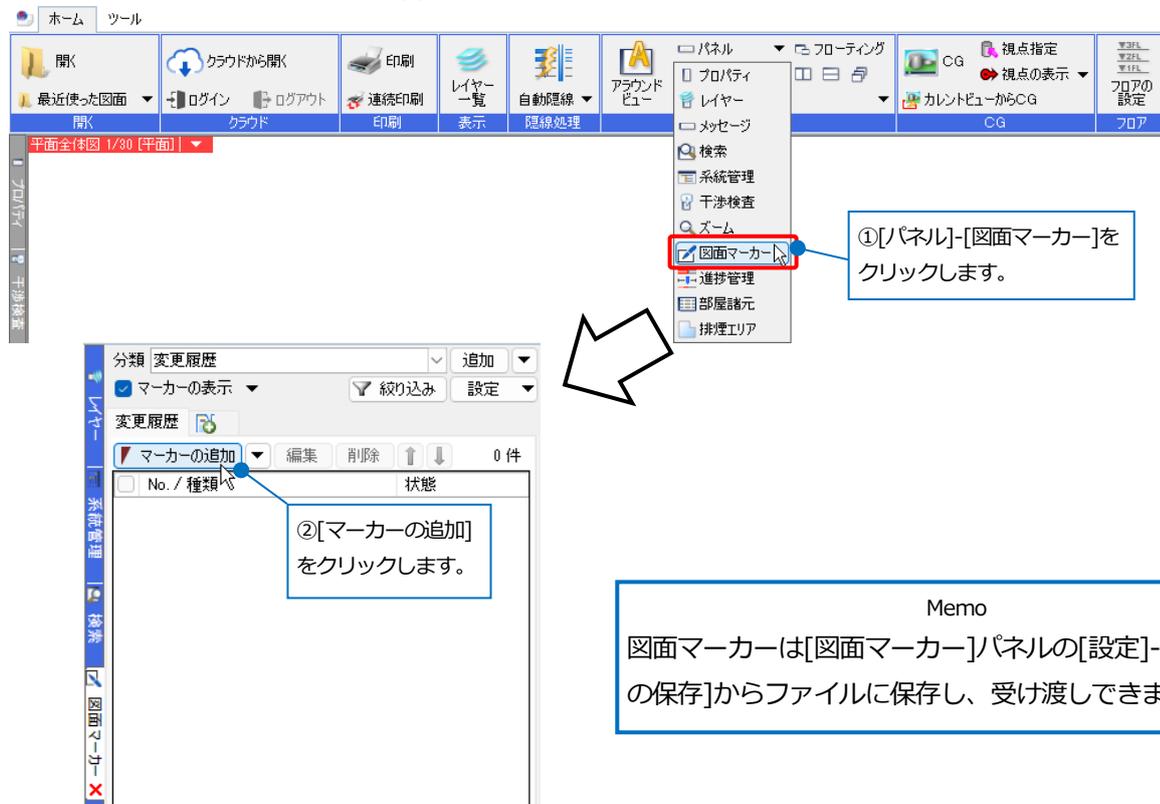
	アラウンドビューを印刷します。
	画像ファイルとして保存します。 [ファイルに保存]BMP、JPEG、GIF、TIFF、PNG の画像形式で保存できます。 [クリップボードに保存]Word や Excel に貼り付けることができます。 [メールで送信]保存した画像をメールで送信します。[メール送信先の設定]をクリックし、宛先、件名、本文を入力します。 [解像度の設定]キャプチャする画像の解像度を設定することができます。
	選択した要素を現在のアラウンドビューに追加表示します。
	選択した要素を現在のアラウンドビューから非表示にします。
	同じ表示状態のアラウンドビューを起動します。

複数のアラウンドビューを起動できます。

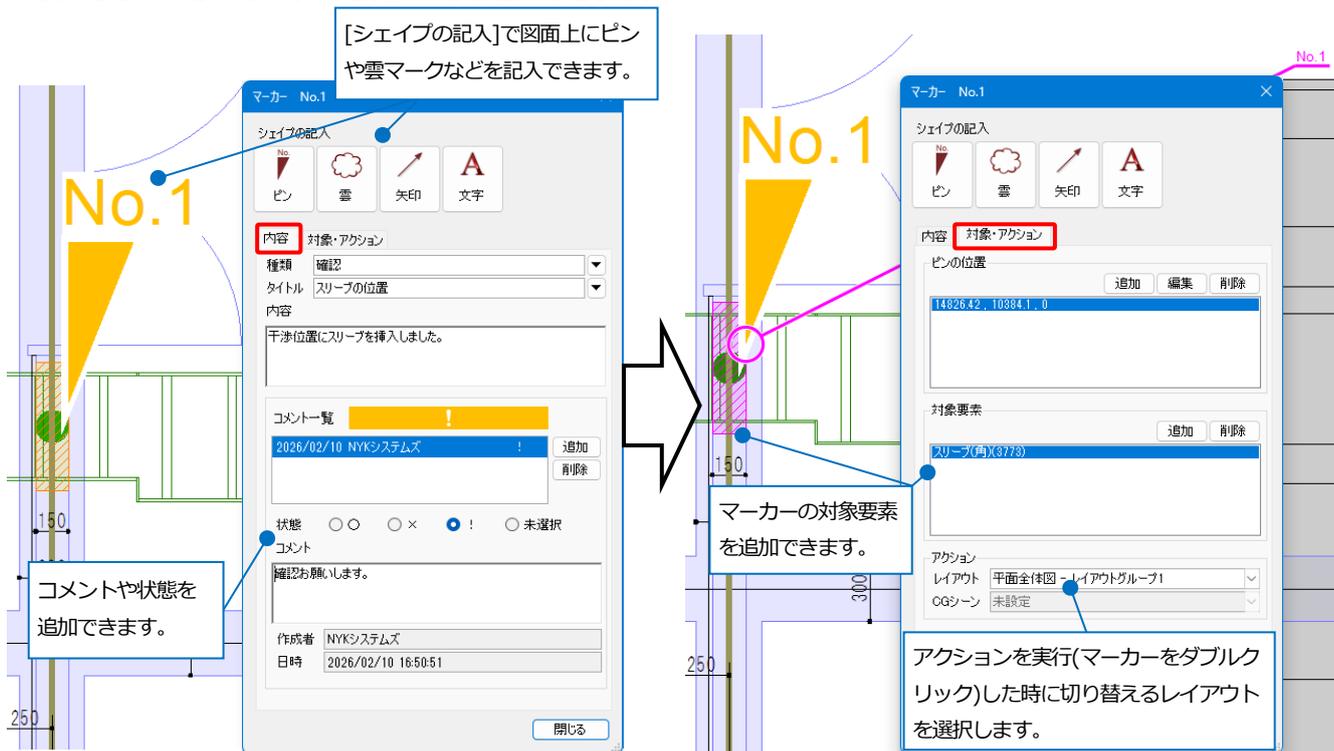


図面マーカー

図面上にマーカーの追加・編集・削除などを行うことができます。マーカーごとにシェイプを記入して図面上に注記したり、コメントを追加して指示を書き込むことができます。



[マーカー]ダイアログが表示され、シェイプを図面上に記入したり、マーカーのタイトルや内容、コメントなどを記入したりできます。[対象・アクション]タブに切り替え、マーカーの対象要素を追加すると、追加したマーカーの対象要素もラバー表示し、要素を選択することができます。



部屋諸元

部屋諸元が設定された図面を開くと、図面上の部屋の情報や、部屋に配置されている機器の情報を一覧で表示することができます。

ホーム ツール

開く クラウドから開く 印刷 レイヤー 自動隠線 アラウンドビュー

最近使った図面 ログイン ログアウト 連続印刷 表示 隠線処理

パネル フォーテイング

プロパティ レイヤー メッセージ 検索 系統管理 干渉検査 ズーム 図面マーカー 進捗管理 部屋諸元 排煙エリア

CG 視点指定 視点の表示 カレントビューからCG フロアの設定

平面全体図 1/30 [平面]

部屋諸元をクリックします。

一覧に表示する内容をフロア・部屋で絞り込みます。

一覧の並び順を指定します。

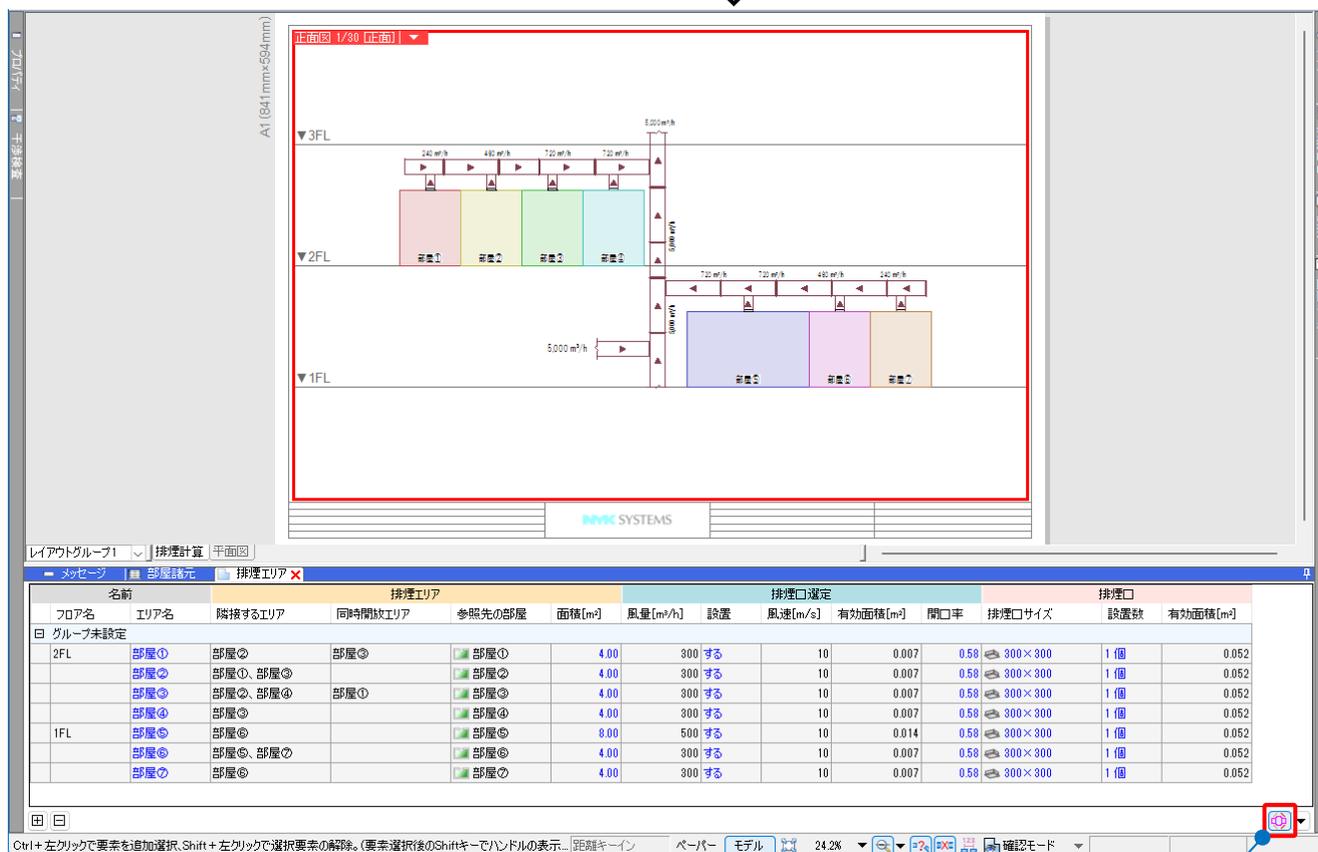
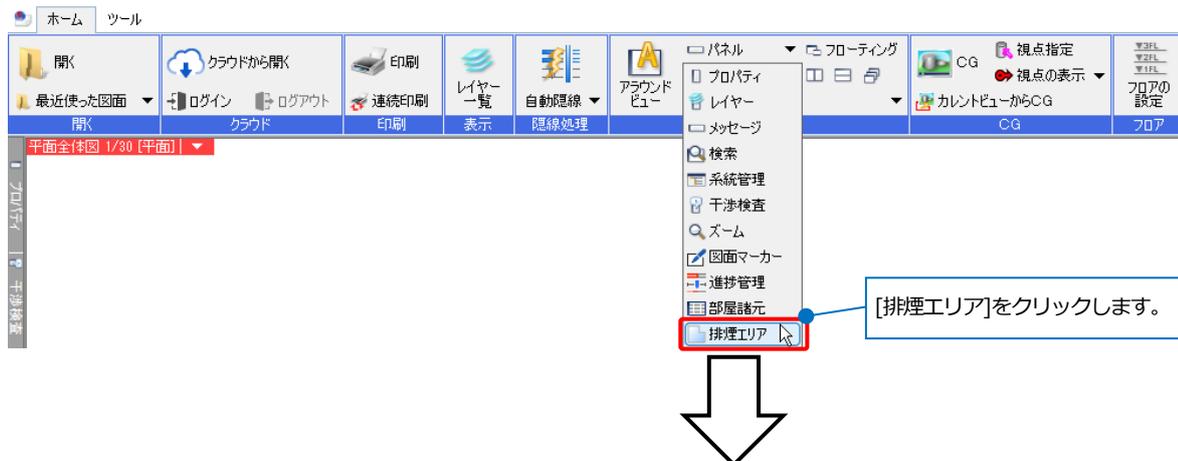
グループ	フロア名	部屋名	部屋の天井高さ	部屋の面積	部屋の体積	機器番号	型番	名称	台数
IFL	IFL	廊下	2500	34.2	85.5	PAC-1	45形, 140形	4方向カセット形ピ	2
						作業員	作業員	作業員	1
IFL	IFL	電気室	5000	23.58	117.92	CUB-1	900W×1650H×8	キュービクル屋内	1
						CUB-2	900W×1650H×8	キュービクル屋内	1
						CUB-3	900W×1650H×8	キュービクル屋内	1
						CUB-4	900W×1650H×8	キュービクル屋内	1

分類を切り替えます。

Ctrl + 左クリックで要素を追加選択, Shift + 左クリックで選択要素の解除。(要素選択後のShiftキーで...距離キーン) ペーパー モデル 24.2%

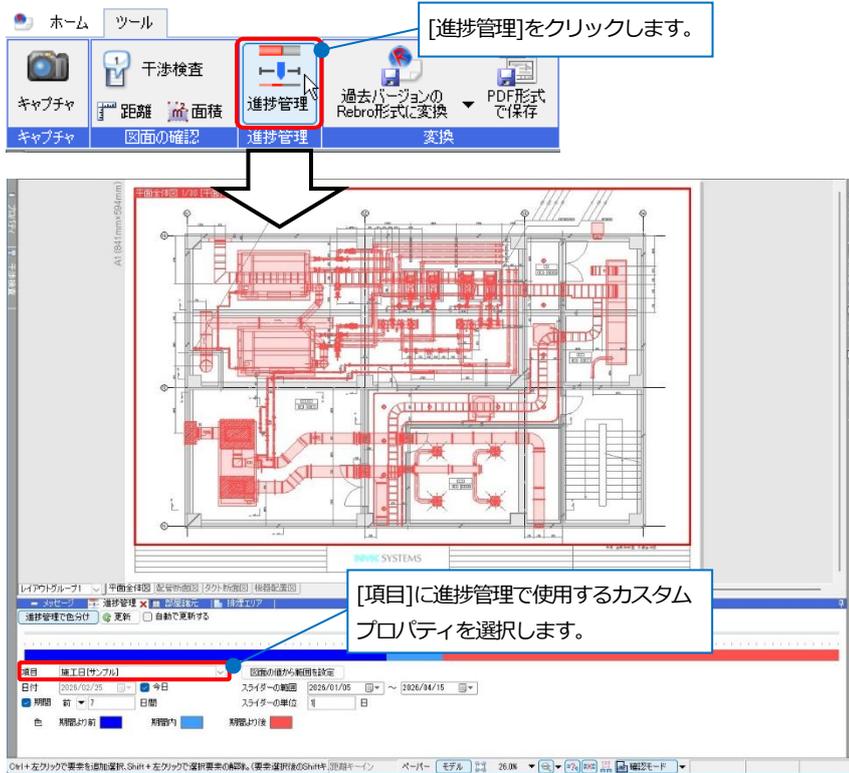
排煙エリア

排煙エリアを設定した図面を開くと、排煙風量や配置済みの排煙口の有効開口面積などの確認ができます。

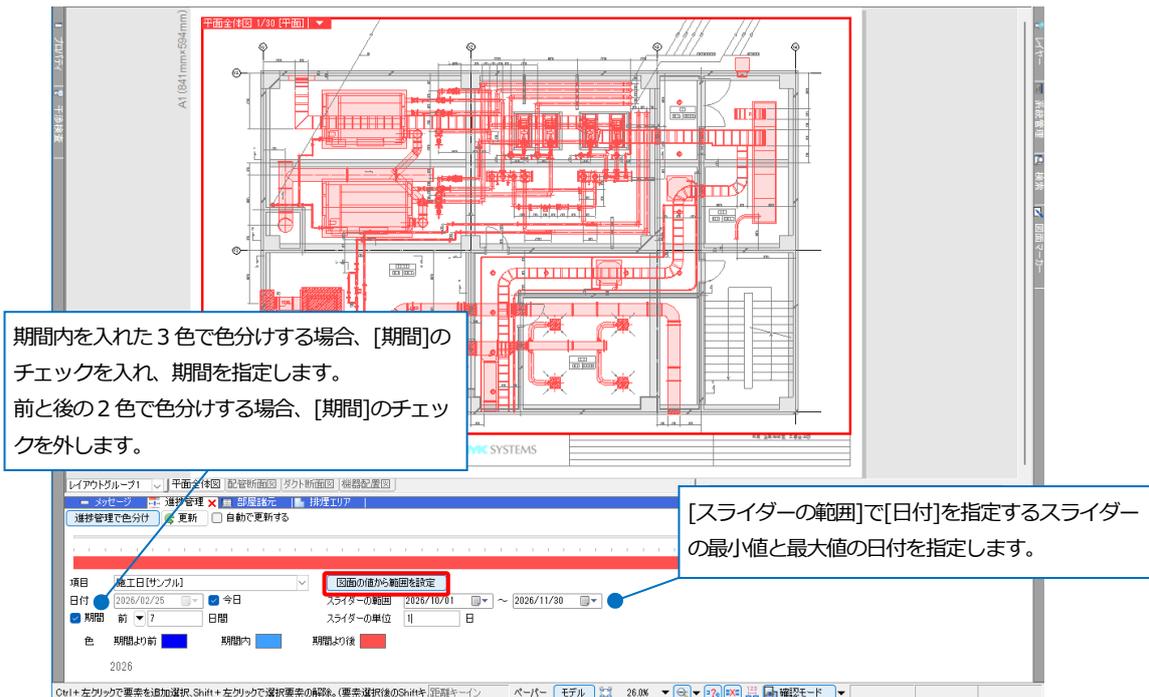


進捗管理

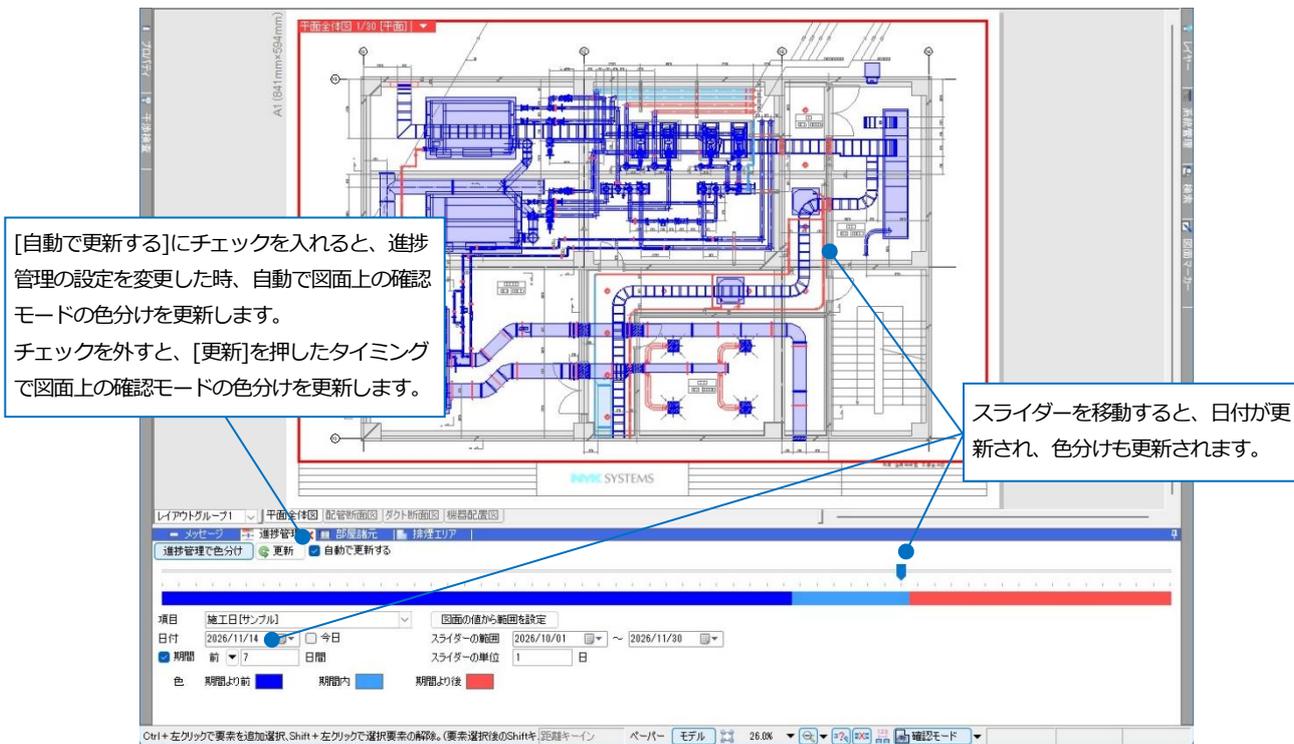
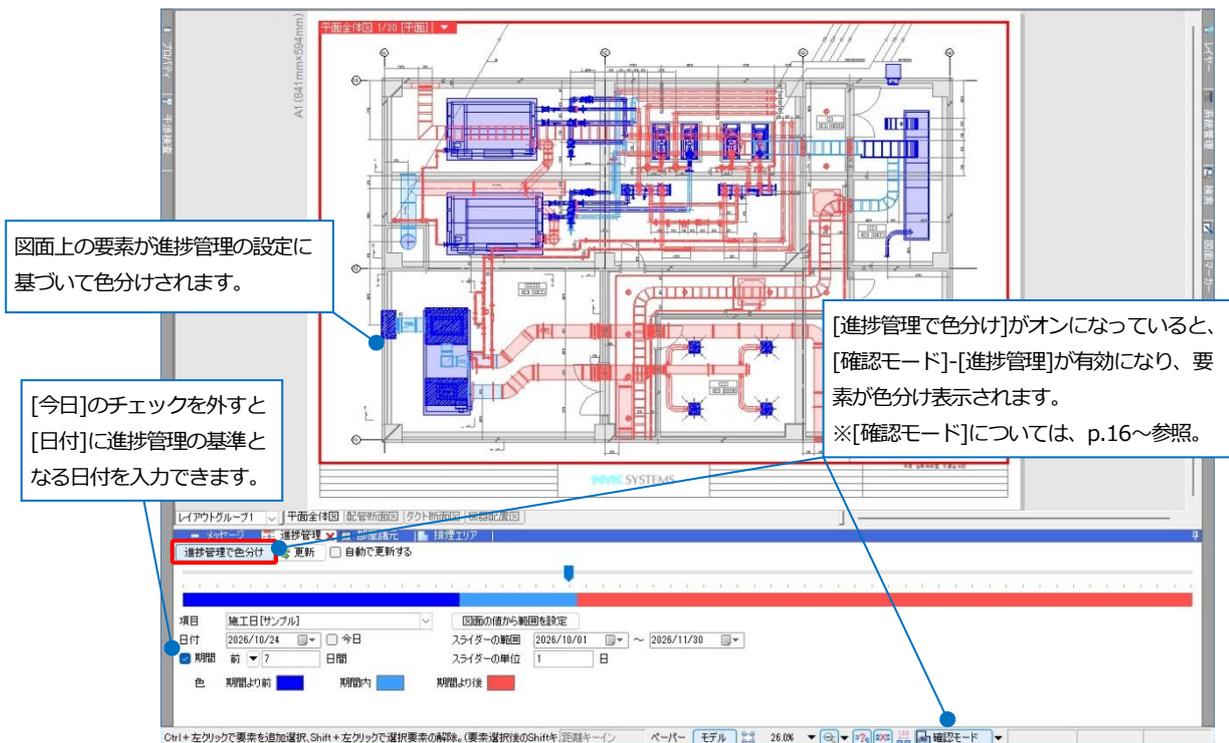
カスタムプロパティに施工日(日付)を設定した図面を開くと、基準にした日付の前、後、もしくは期間前、期間中、期間後で色分けして表示することができます。



進捗管理で確認する[期間]や、[スライダーの範囲]を決めます。[図面の値から範囲を設定]をクリックすると、図面全体から[項目]に設定された日付を取得し、最小値をスライダーの開始日に、最大値をスライダーの終了日に再設定します。

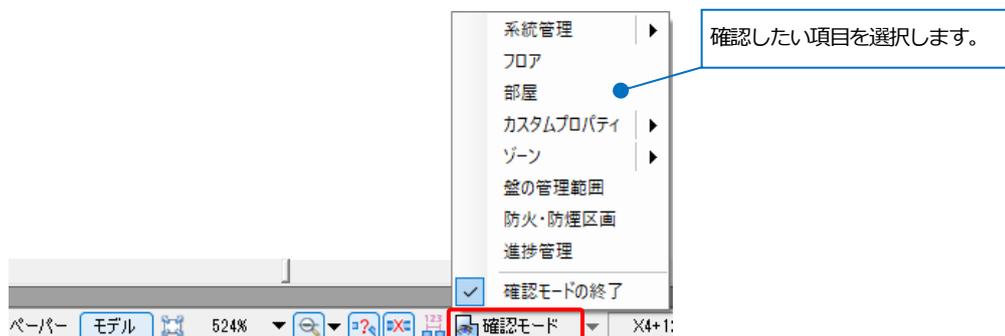


[日付]に進捗管理の基準となる日付を入力します。[進捗管理で色分け]をオンにすると、指定された日付によってすべての要素が色分けして表示されます。[自動で更新する]にチェックを入れ、スライダーを移動させると日付が更新され、自動で図面上の色分けも更新します。



確認モード

[確認モード]をクリックすると、システム管理や部屋、カスタムプロパティなどが設定されている場合、図面やCGを色分けして表示することができます。

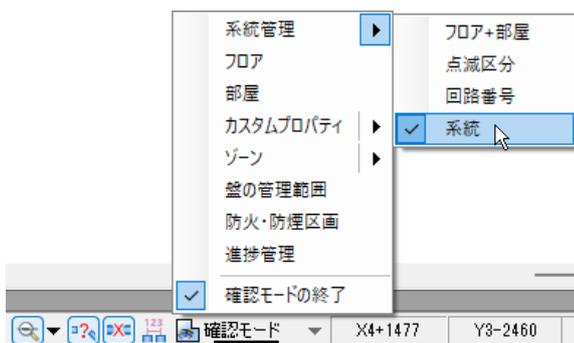


各色分け、カスタムプロパティやゾーンの種類などは[確認モード]横の[▼]から確認します。

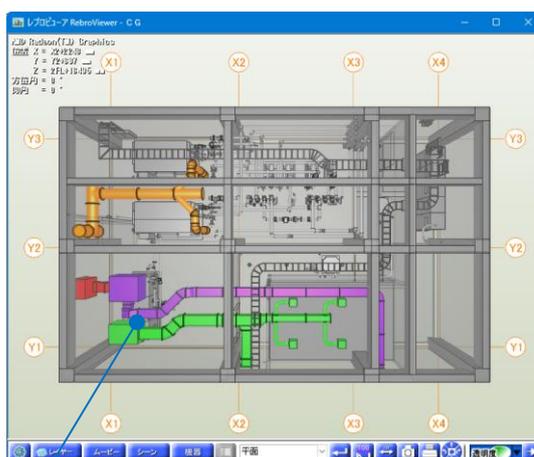
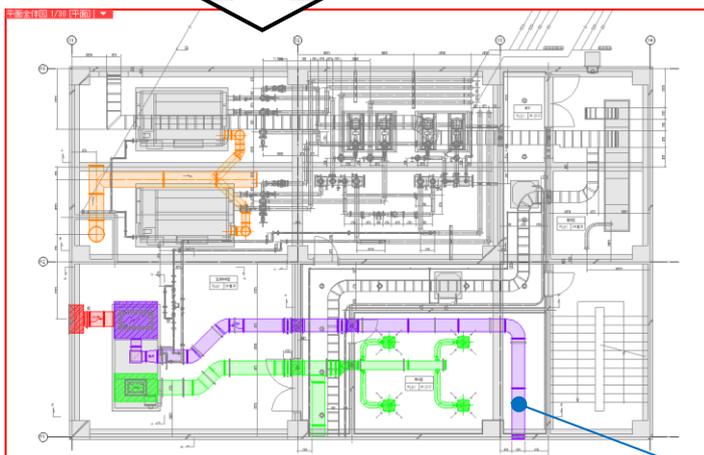
確認モードを終了して元の色に戻したい場合は、[確認モード]-[確認モードの終了]をクリックします。

システム管理の確認

設定した系統(要素)ごとに色分けします。

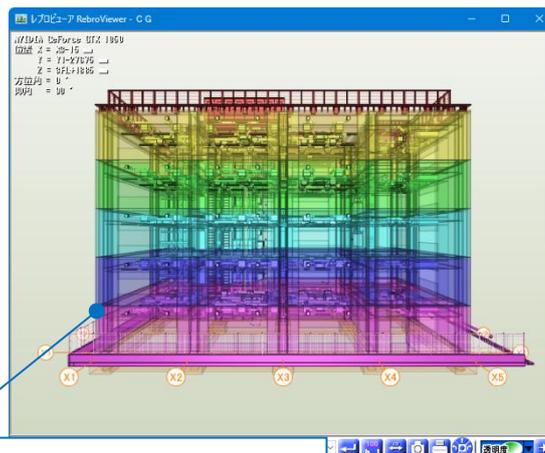
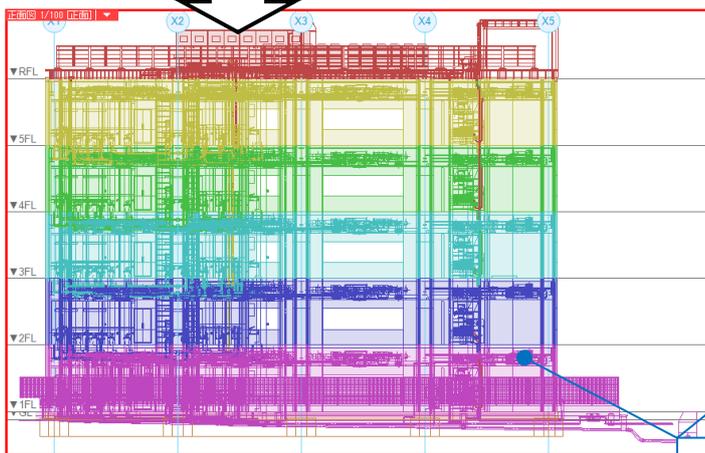
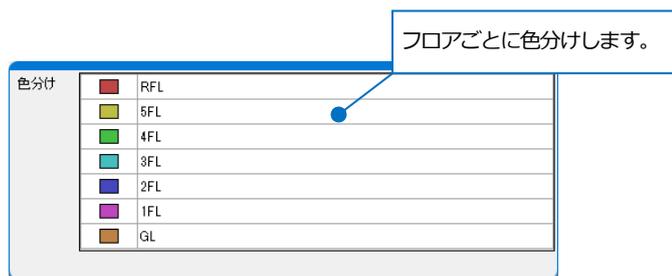
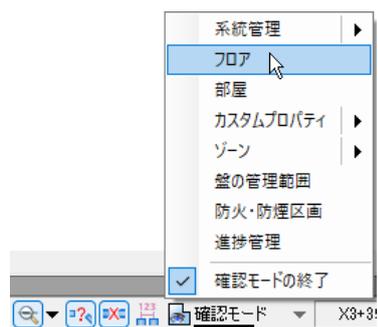


色分け	
■	給気/ダクト
■	給気/ダクト・ダクト局部
■	給気/ダクト・制気口
■	外気/ダクト
■	外気/ダクト・ダクト局部
■	外気/ダクト・制気口
■	還気/ダクト



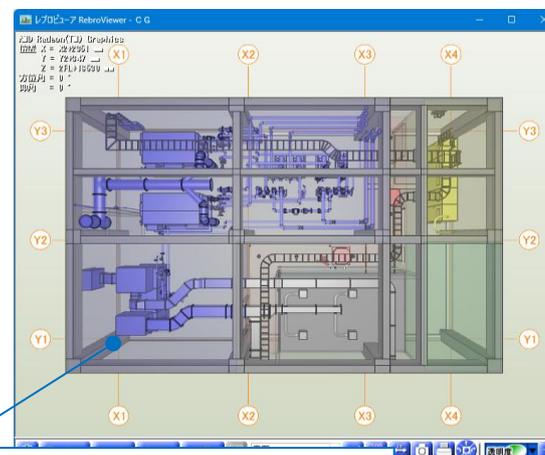
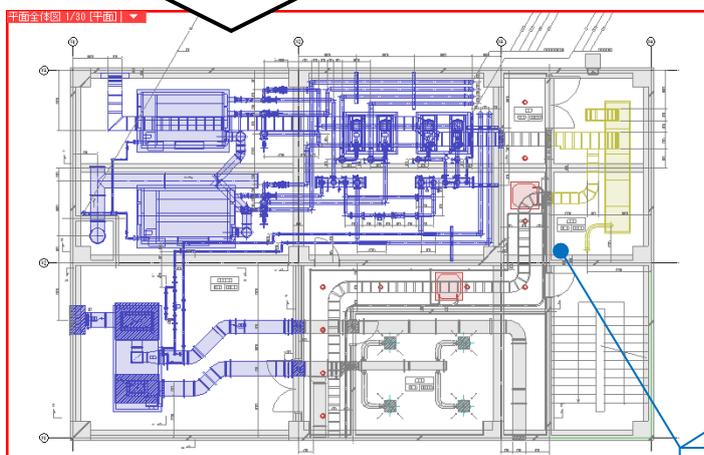
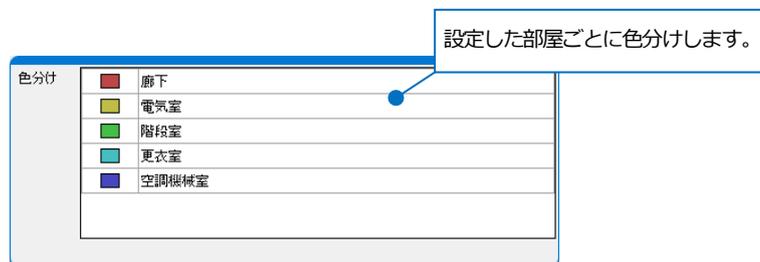
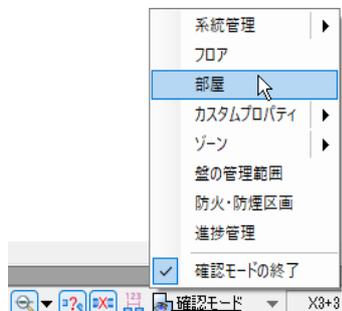
設定した系統(要素)ごとに色がつきます。

フロアの確認



基準フロアごとに要素に色がつきます。

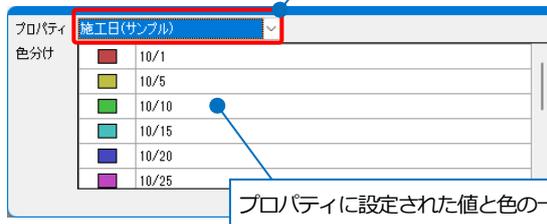
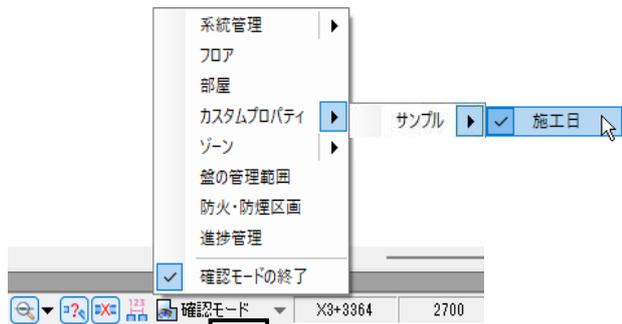
部屋の確認



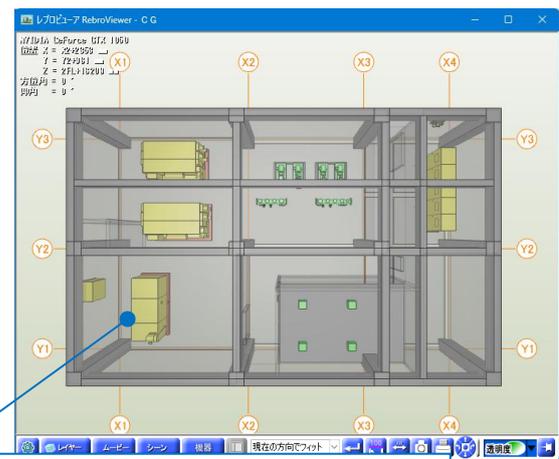
設定した部屋に含まれる要素に色がつきます。

カスタムプロパティの確認

プロパティを選択します。表示はプロパティの項目ごとに色分けされます。



プロパティに設定された値と色の一覧を確認できます。



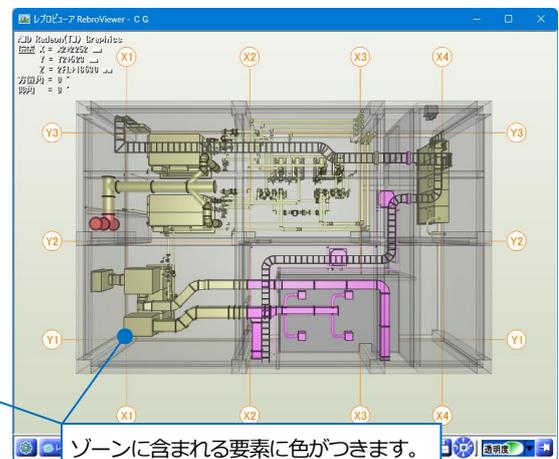
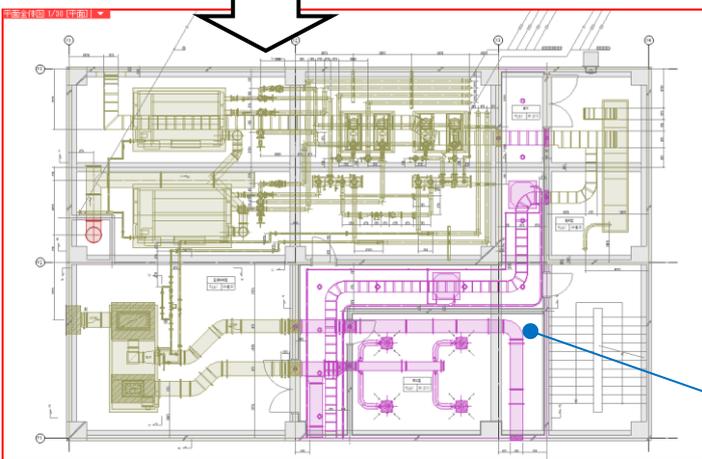
カスタムプロパティを設定した要素に色がつきます。

ゾーンの確認

設定した種類から選択します。種類ごとに色分けを行います。

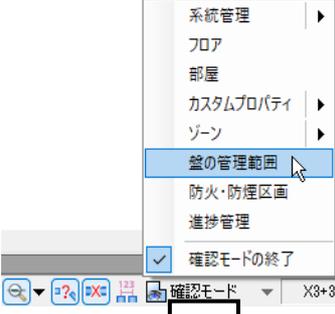


設定内容の名称と色の一覧を確認できます。



ゾーンに含まれる要素に色がつきます。

盤の管理範囲の確認

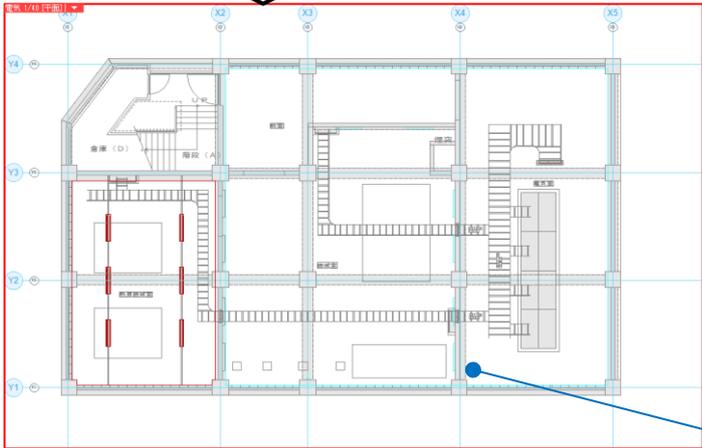


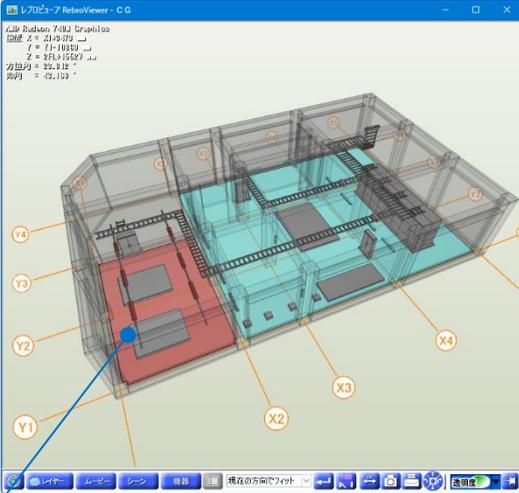
系統管理
フロア
部屋
カスタムプロパティ
ゾーン
盤の管理範囲
防火・防煙区画
進捗管理
確認モードの終了

確認モード X3+3

盤名称ごとに色分けします。

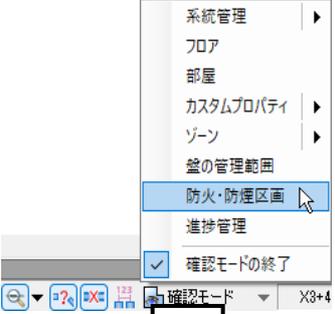
色分け	
	開閉器盤両開き
	キュービクル屋内形片面扉両開き





管理範囲内の盤に接続する要素に色がつきます。

防火・防煙区画の確認

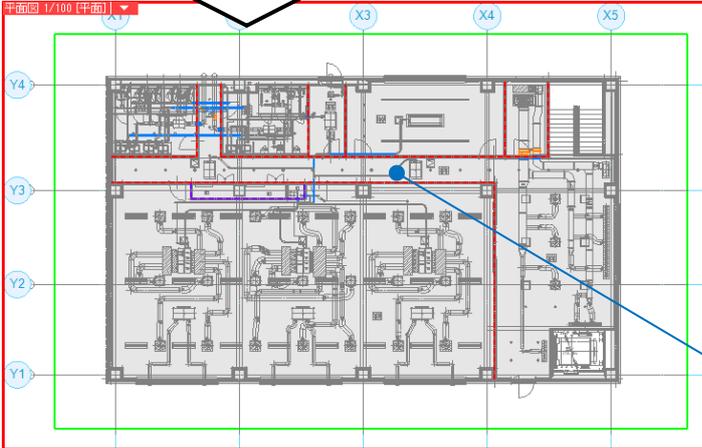


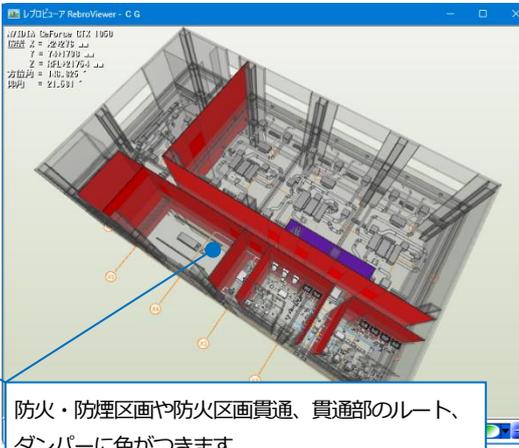
系統管理
フロア
部屋
カスタムプロパティ
ゾーン
盤の管理範囲
防火・防煙区画
進捗管理
確認モードの終了

確認モード X3+4

区画の種類ごとに色分けします。

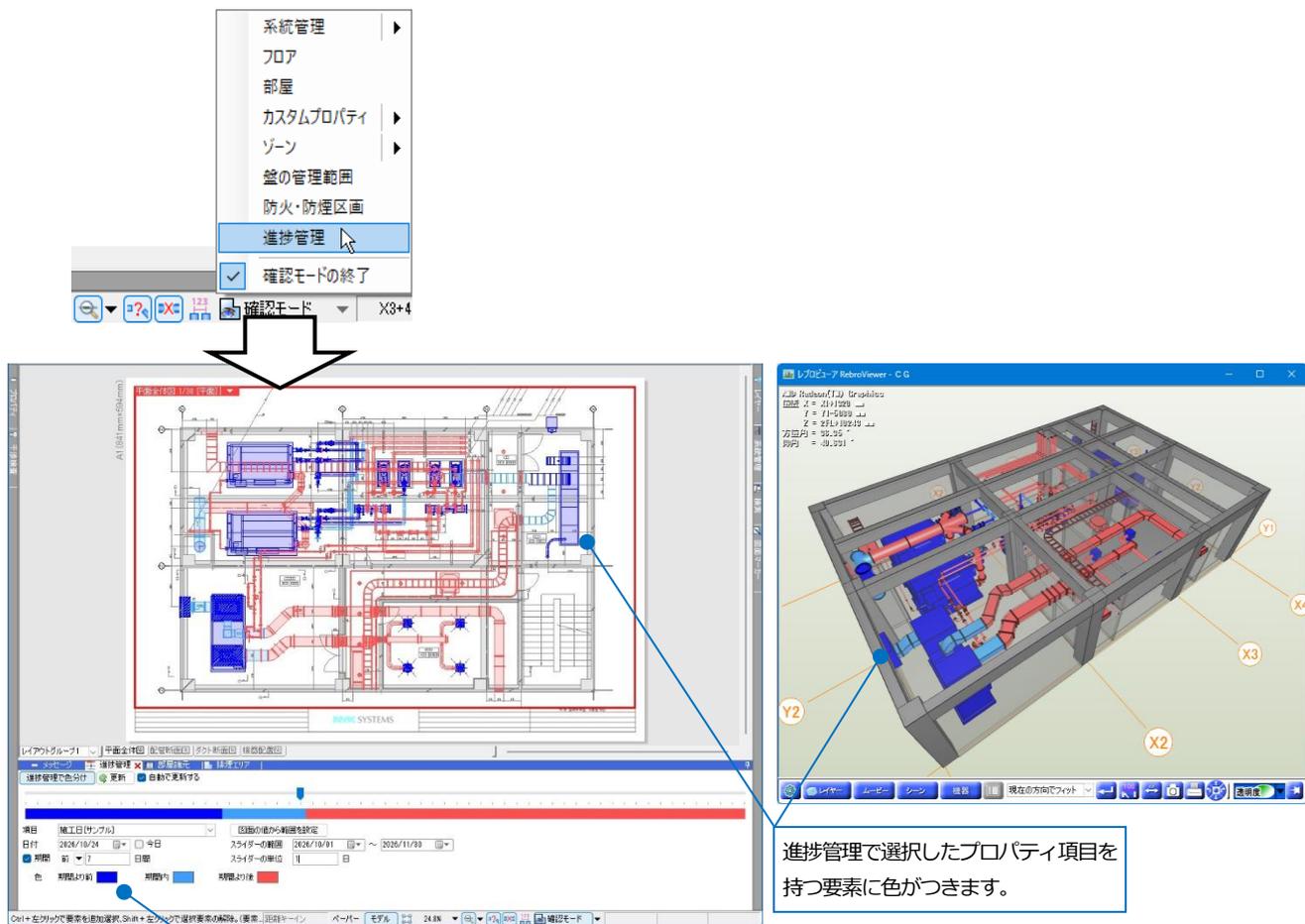
色分け	
	面積区画
	114条区画
	竪穴区画
	延焼エリア
	異種用途区画
	高層区画
	防火上主要な間仕切壁





防火・防煙区画や防火区画貫通、貫通部のルート、ダンパーに色がつきます。

進捗管理の確認



[進捗管理]パネルの設定に応じて要素が色分けして表示されます。色が表示された領域の矩形をクリックすると、色を変更することができます。

The screenshot shows the '進捗管理' (Progress Management) panel. It includes a color palette with various colors. Below the palette, there are settings for '項目' (Item) set to '施工日[サン]' (Construction Date [Sun]), '日付' (Date) set to '2026/10/24', and '期間' (Period) set to '前' (Previous) with a value of '7'. The '色' (Color) section shows three color swatches: '期間より前' (Before period) in blue, '期間内' (During period) in light blue, and '期間より後' (After period) in red.

干渉検査

レブロで干渉検査した図面を開くと干渉検査の結果を確認することができます。

[干渉検査]をクリックします。

干渉検査、干渉結果の編集・出力(左パネル-CO)は、レブロで行う必要があります。

干渉位置 除外リスト
表示数(25) / 干渉数(25)

NO.	①要素名	②要素名	内容	X	Y	Z	干渉量(上)	干渉量(下)
1	都市ガス配管 80A	床 150H	干渉	X1+375	Y2+1688	2FL+0	1723	150
2	都市ガス配管 80A	梁 350×700H	離隔不足	X1+350	Y2+1725	1FL+4139		
3	煙突ダクト 500φ	床 150H	干渉	X1+1051	Y2+728	2FL+0	701	151
4	溶接継手(白)鋼	鑄鉄製フランジ形	干渉	X2-1301	Y2+1914	1FL+2055	19	291
5	溶接継手(白)鋼	配管加工用継手	干渉	X2+1496	Y3-3083	1FL+376	6	111
6	ゴム製防振継手(…)	冷却水(往配管	干渉	X2+2010	Y3-2531	1FL+1012	577	236
7	逆止弁(フランジ10	冷却水(往配管	干渉	X2+2069	Y3-2590	1FL+1459	352	491
8	溶接継手(白)鋼	配管加工用継手	干渉	X2+2496	Y3-3083	1FL+376	6	111
9	逆止弁(フランジ5K	ドレン(空調配管	干渉	X3-1794	Y2+2770	1FL+528	100	109
10	ゴム製防振継手(…)	冷温水(還配管	干渉	X3-1472	Y3-2642	1FL+1001	614	236
11	逆止弁(フランジ10	冷温水(還配管	干渉	X3-1543	Y3-2691	1FL+1339	389	453
12	ドレン(空調配管	青銅製仕切弁(ね	干渉	X3-1600	Y2+2800	1FL+517	70	70
13	冷却水(還配管	床 150H	干渉	X3-951	Y3-699	2FL+0	1272	150
14	冷却水(往配管	床 150H	干渉	X3-951	Y3-851	2FL+0	1272	150
15	冷却水(往配管	床 150H	干渉	X3-951	Y3-1101	2FL+0	1272	150
16	冷温水(還配管	床 150H	干渉	X3-601	Y3-1547	2FL+0	1264	151
17	膨張管(空調配	床 150H	干渉	X3-1039	Y3-1469	2FL+0	1393	151
18	冷却水(還配管	床 150H	干渉	X3-951	Y3-449	2FL+0	1272	150
19	冷却水(還配管	梁 350×700H	離隔不足	X3-1000	Y3-400	1FL+4365		
20	冷温水(往配管	床 150H	干渉	X3-301	Y3-1453	2FL+0	1244	151
21	冷温水(往配管	梁 350×700H	離隔不足	X3-400	Y3-1500	1FL+4378		
22	厚鋼電線管 G92	床 150H	干渉	X4-2169	Y2+490	2FL+0	1646	150
23	ケーブルラック 400	床 150H	干渉	X4-2195	Y3-1540	2FL+0	1281	151
24	厚鋼電線管 G92	キュービクル屋内	干渉	X4-1349	Y2+1340	1FL+150	2401	151
25	厚鋼電線管 G92	機械基礎 900×4	干渉	X4-1349	Y2+1340	1FL+0	151	151

[干渉検査]パネル

干渉や離隔不足の箇所に、内容に合わせた色のバレーンが表示されます。パネルの干渉番号をクリックすると、同じ番号のバレーンの色が変わります。

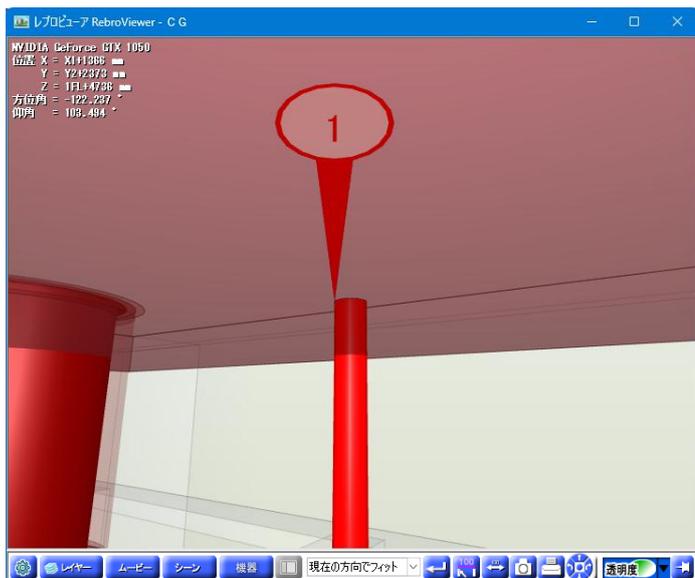
図面上の干渉、離隔不足の箇所の表示/非表示、バレーンの形状を切り替えます。

干渉位置 除外リスト
表示数(25) / 干渉数(25)

NO.	①要素名	②要素名	内容	X	Y	Z	干渉量(上)	干渉量(下)
1	都市ガス配管 80A	床 150H	干渉	X1+375	Y2+1688	2FL+0	1723	150
2	都市ガス配管 80A	梁 350×700H	離隔不足	X1+350	Y2+1725	1FL+4139		
3	煙突ダクト 500φ	床 150H	干渉	X1+1051	Y2+728	2FL+0	701	151
4	溶接継手(白)鋼	鑄鉄製フランジ形	干渉	X2-1301	Y2+1914	1FL+2055	19	291
5	溶接継手(白)鋼	配管加工用継手	干渉	X2+1496	Y3-3083	1FL+376	6	111
6	ゴム製防振継手(…)	冷却水(往配管	干渉	X2+2010	Y3-2531	1FL+1012	577	236
7	逆止弁(フランジ10	冷却水(往配管	干渉	X2+2069	Y3-2590	1FL+1459	352	491
8	溶接継手(白)鋼	配管加工用継手	干渉	X2+2496	Y3-3083	1FL+376	6	111
9	逆止弁(フランジ5K	ドレン(空調配管	干渉	X3-1794	Y2+2770	1FL+528	100	109
10	ゴム製防振継手(…)	冷温水(還配管	干渉	X3-1472	Y3-2642	1FL+1001	614	236
11	逆止弁(フランジ10	冷温水(還配管	干渉	X3-1543	Y3-2691	1FL+1339	389	453
12	ドレン(空調配管	青銅製仕切弁(ね	干渉	X3-1600	Y2+2800	1FL+517	70	70
13	冷却水(還配管	床 150H	干渉	X3-951	Y3-699	2FL+0	1272	150
14	冷却水(往配管	床 150H	干渉	X3-951	Y3-851	2FL+0	1272	150
15	冷却水(往配管	床 150H	干渉	X3-951	Y3-1101	2FL+0	1272	150
16	冷温水(還配管	床 150H	干渉	X3-601	Y3-1547	2FL+0	1264	151
17	膨張管(空調配	床 150H	干渉	X3-1039	Y3-1469	2FL+0	1393	151
18	冷却水(還配管	床 150H	干渉	X3-951	Y3-449	2FL+0	1272	150
19	冷却水(還配管	梁 350×700H	離隔不足	X3-1000	Y3-400	1FL+4365		
20	冷温水(往配管	床 150H	干渉	X3-301	Y3-1453	2FL+0	1244	151
21	冷温水(往配管	梁 350×700H	離隔不足	X3-400	Y3-1500	1FL+4378		
22	厚鋼電線管 G92	床 150H	干渉	X4-2169	Y2+490	2FL+0	1646	150
23	ケーブルラック 400	床 150H	干渉	X4-2195	Y3-1540	2FL+0	1281	151
24	厚鋼電線管 G92	キュービクル屋内	干渉	X4-1349	Y2+1340	1FL+150	2401	151
25	厚鋼電線管 G92	機械基礎 900×4	干渉	X4-1349	Y2+1340	1FL+0	151	151

リストをクリックすると、干渉箇所の干渉量が確認できます。

リストまたはバレーンをダブルクリックすると、CG画面が表示され、干渉箇所に視点を近づけます。



検索

キーワードを入力すると、図面から文字や部材などを検索することができます。

①[パネル]-[検索]をクリックします。

②キーワードを入力し、[検索]をクリックします。

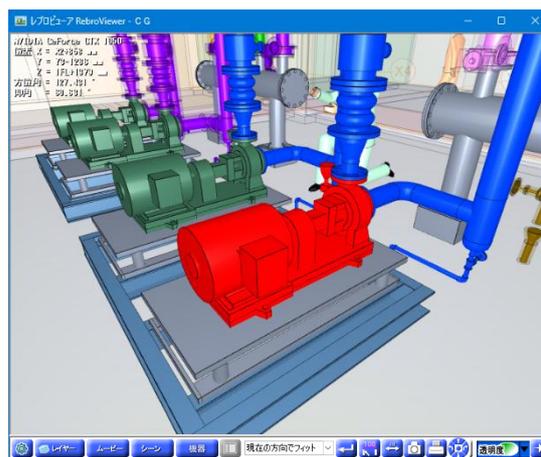
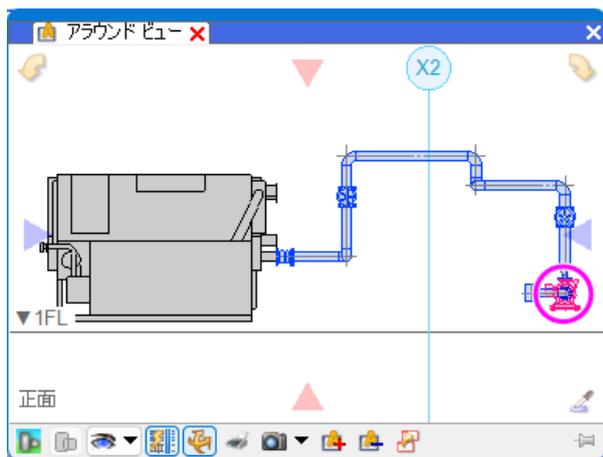
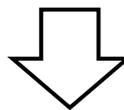
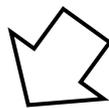
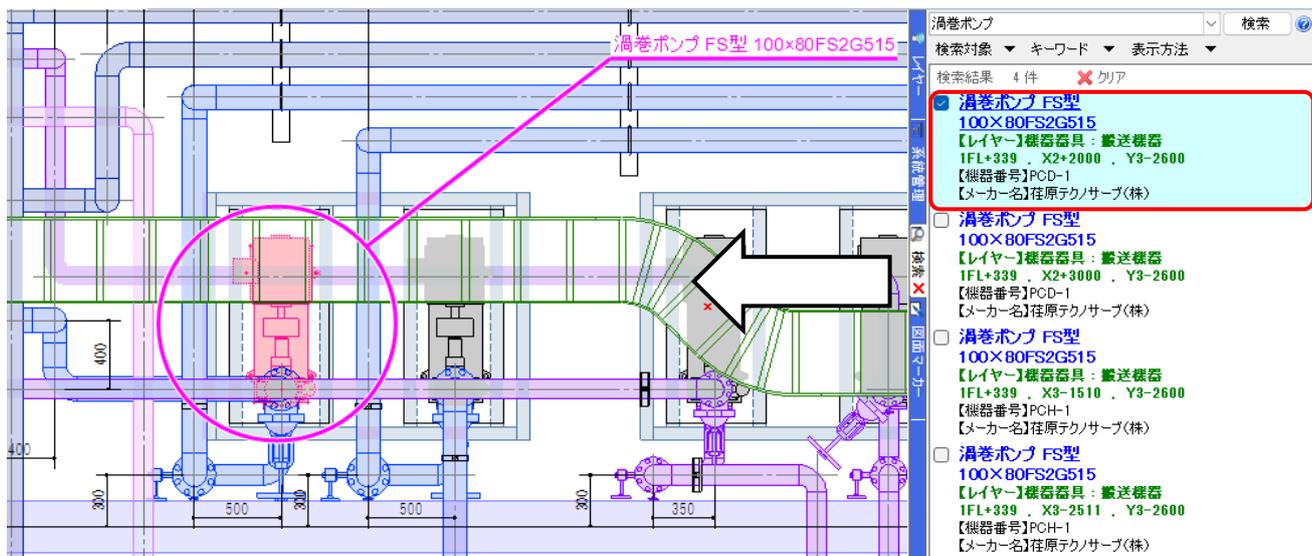
③一致する要素が一覧で表示されます。

プロパティ項目のキーワードを絞り込みます。

- キーワード
 - 共通、用途、材料
 - 名称
 - レイヤー
 - 用途
 - 材料サブセット
 - 部材情報、モジュール
 - 機器番号
 - 枝番号
 - 名称
 - 型番
 - 略号
 - その他
 - サイズ、基準フロア
 - サイズ
 - 基準フロア
 - 梁番号
 - 記号
 - 枝番
 - 電気
 - 乗数記号
 - 敷設方法
 - 点滅区分
 - 盤名称
 - 回路番号
 - 添字
 - テキスト、寸法値
 - 文字列
 - 寸法値
 - フォント
 - サイズ
 - カスタムプロパティ
 - IFC情報
 - 識別情報
 - GUID
 - 要素名
 - 要素ID
 - 外部参照ID
 - 部材ID
 - 単線記号ID

すべて選択 すべて解除

検索結果から部材を選択すると、図面、アラウンドビュー、CGで部材を確認することができます。



Memo

[表示方法]をクリックすると検索結果リストを選択した際に、CGやアラウンドビューを表示させるかどうかを選択することができます。

渦巻ポンプ

検索対象 ▼ キーワード ▼ **表示方法** ▼

検索結果 4件

渦巻ポンプ FS型
100×80FS2G51
【レイヤー】機器器具：搬送機器
1FL+339 . X2+200 . Y3-2600
【機器番号】PCD-1
【メーカー名】荏原テクノサーブ(株)

表示方法

- 画面の中心に移動する
- アラウンドビューを起動する
- CGを起動する

キャプチャ

レブロの画面の指定した範囲を画像として保存できます。

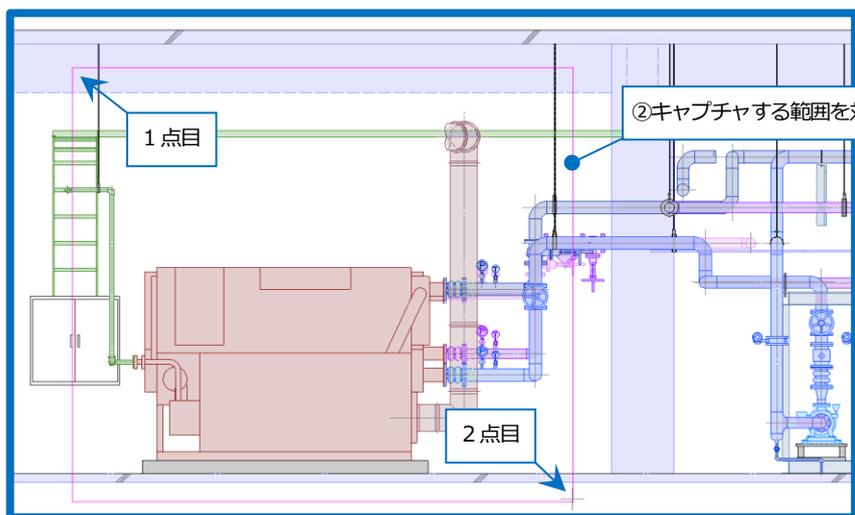


①[キャプチャ]をクリックします。

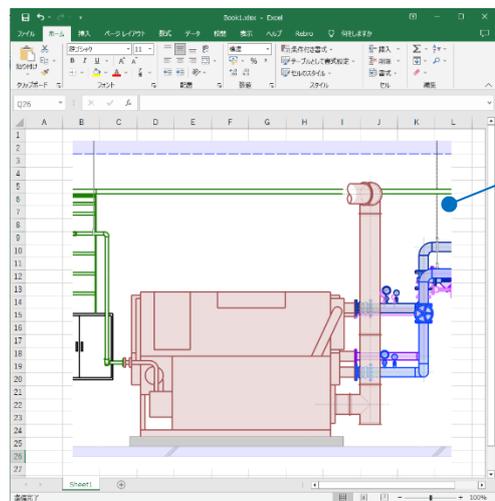


解像度を設定して保存できます。

[ファイルに保存]…BMP、JPEG、GIF、TIFF、PNGの画像形式で保存できます。PDF形式に保存もできます。
 [クリップボードに保存]…WordやExcelに貼り付けることができます。
 [メールで送信]…保存した画像をメールで送信します。[設定]をクリックし、宛先、件名、本文を入力します。



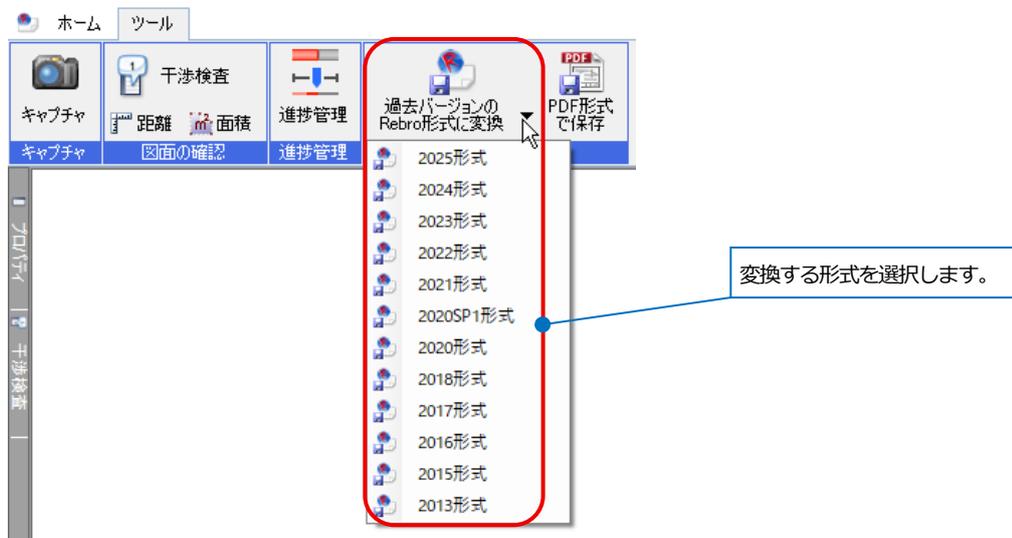
②キャプチャする範囲を対角2点で指定します。



③保存方法を[クリップボードに保存]にするとWordやExcelにキャプチャ画像を貼り付けることができます。

過去バージョンの Rebro 形式に変換

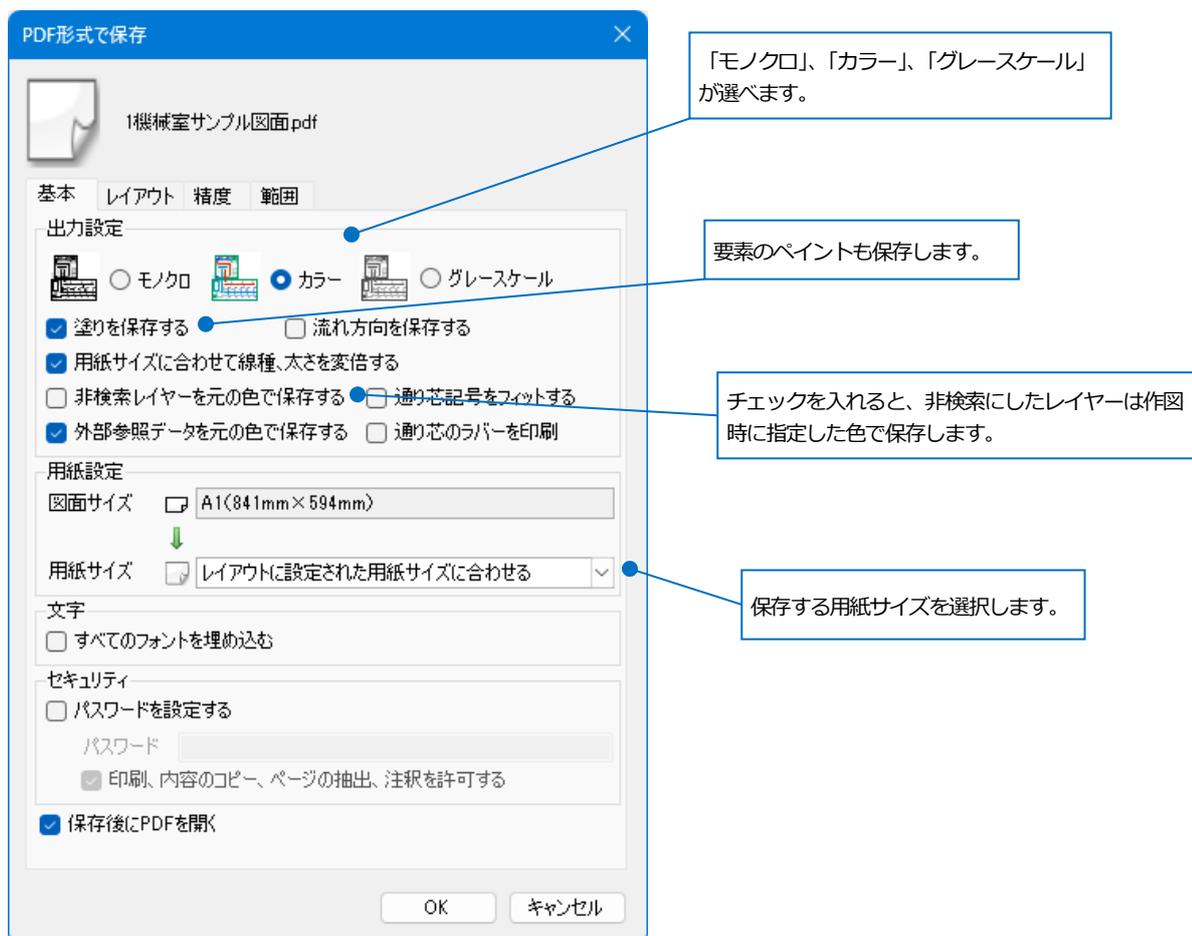
上位バージョンで保存した Rebro 図面を過去バージョンの Rebro で読み込める形式に変換します。



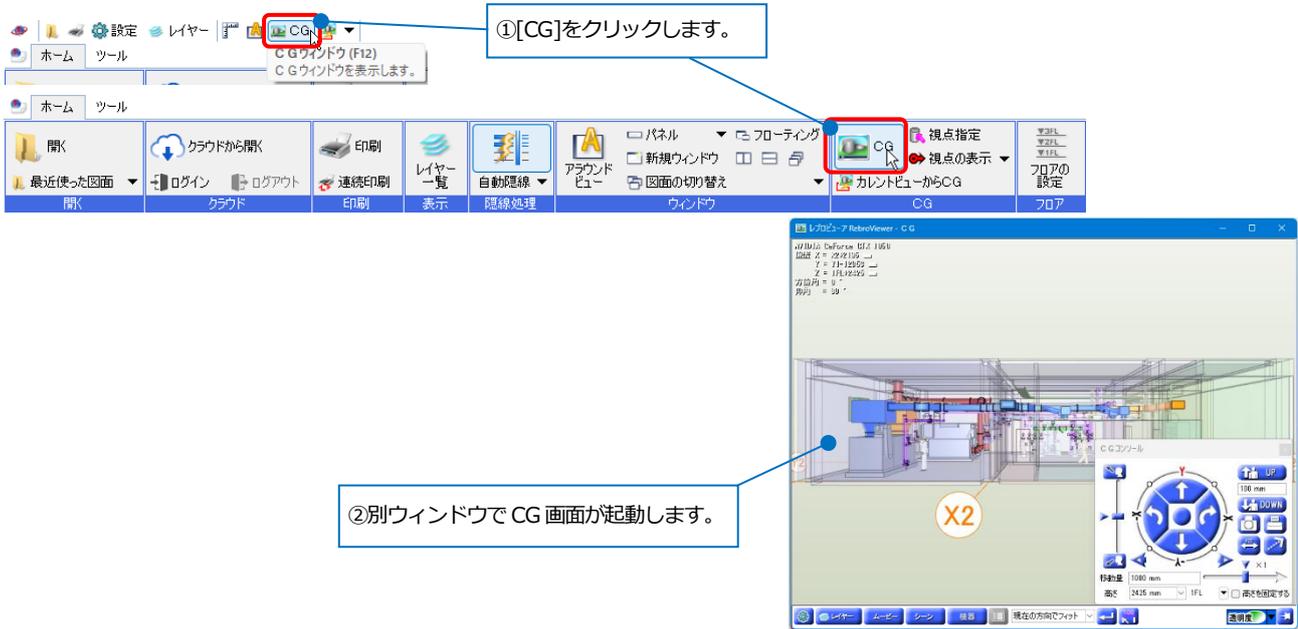
PDF 形式で保存

PDF 形式ファイルに保存します。

※レプロビューアで保存することができる外部ファイル形式は、PDF(*.pdf)のみです。



4.CG



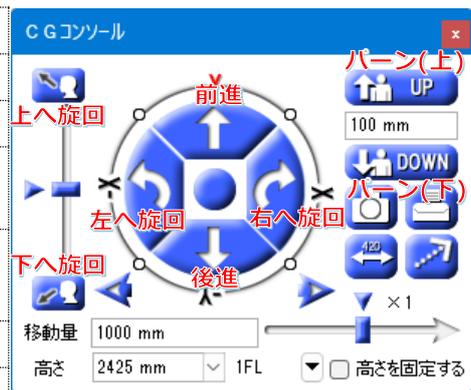
マウス操作

ホイール	回転で前進、後進。ドラッグで画面を移動します。
左ドラッグ	現在の位置を中心に上下左右に旋回します。
右ドラッグ	マウスを合わせた位置(要素上)を中心に回転します。
左ダブルクリック(スワイプ)	指定要素に視点を近づけます。
右ダブルクリック	画面を水平にします。

※Ctrl キーを押しながらホイールを回すと 2 倍の距離で移動します。

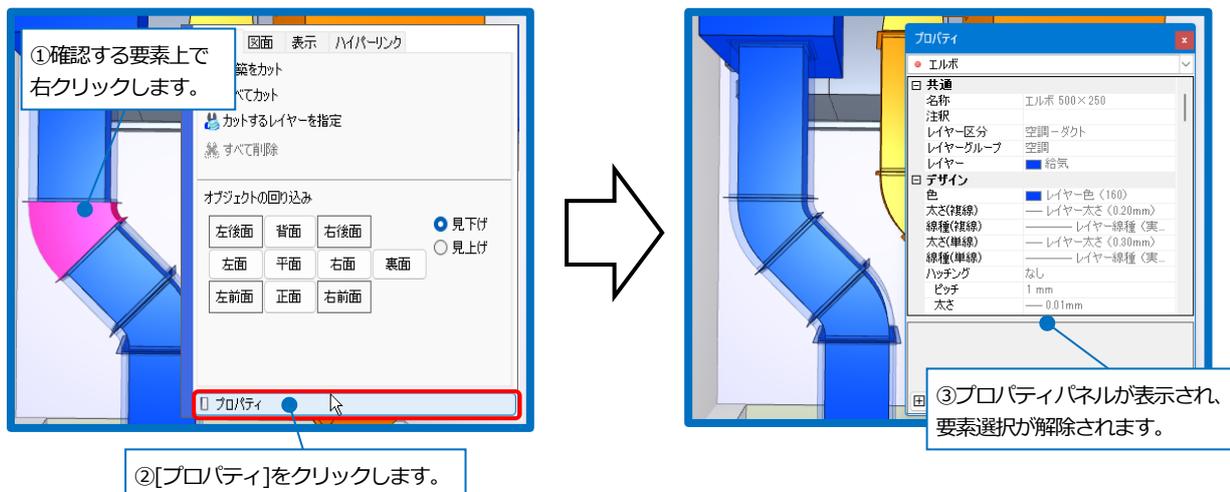
CG コンソールパネルでの操作

前進/後進	視点を前方、後方に移動します。
左へ旋回/右へ旋回	視点を左、右側に旋回します。
上へ旋回/下へ旋回	視点を上、下側に旋回します。
スライダー	画面移動の速度と移動量を調整します。
移動量	移動距離を指定します。前進、後進移動で、1 クリックのピッチとして設定します。
パーン(上)(下)	視点を入力数値ごと上下に移動します。
パーン(左)(右)	視点を左右に移動します。
高さ	フロア名を選択し、視点の高さを直接入力して画面を移動します。
高さを固定する	チェックを入れると、現在の高さを固定して前進、後進、左右に移動します。



プロパティ

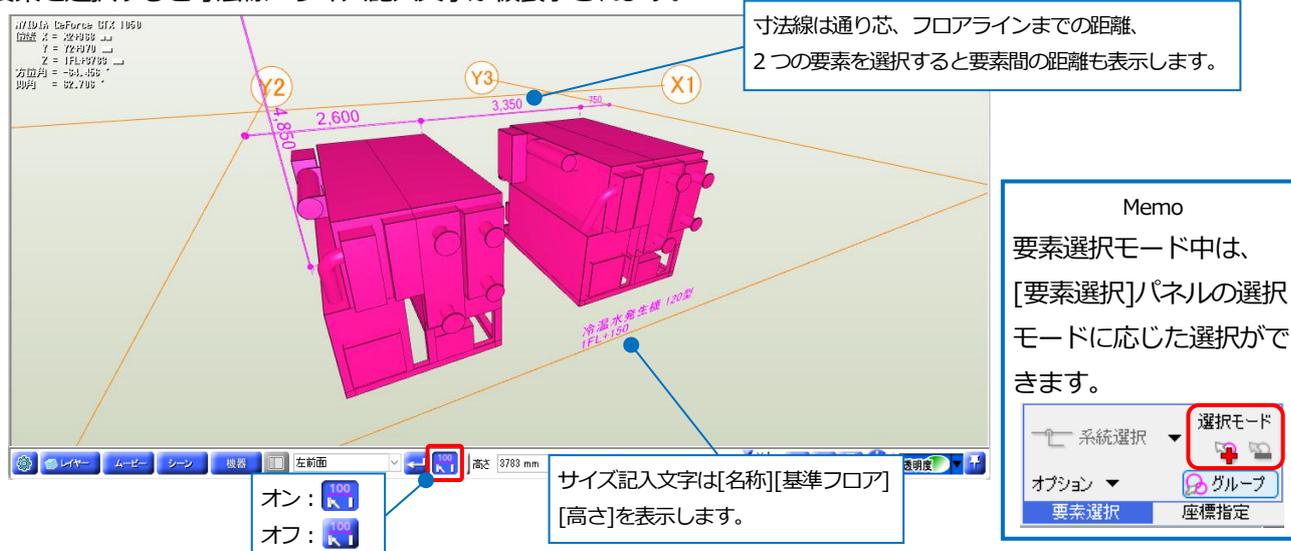
指定した要素の情報を、プロパティを開いて確認することができます。



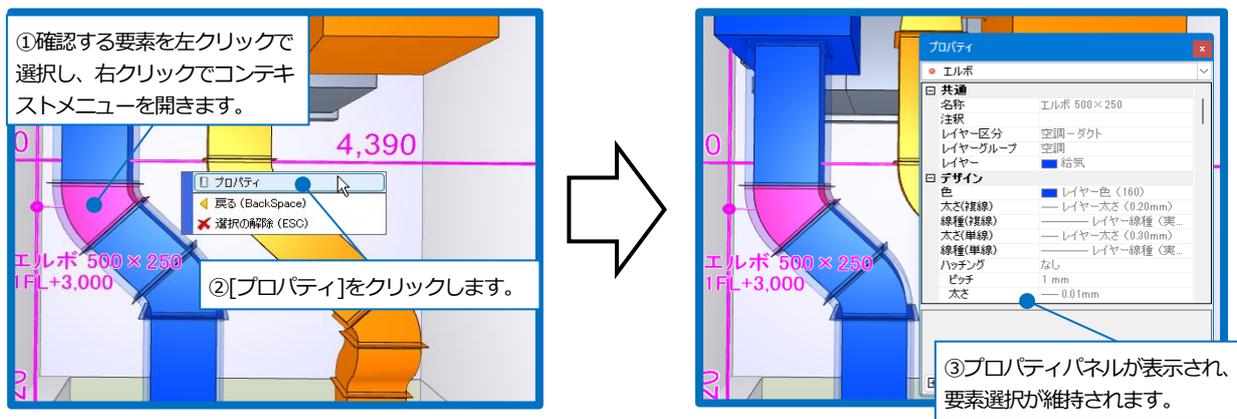
選択モード

[100]をクリックし、要素選択モードをオンにすると、CG上でビュー内と同じように左クリックで要素が選択できます。ビュー内で選択した要素を、連動してCG上でも選択色で表示します。

要素を選択すると寸法線・サイズ記入文字が仮表示されます。

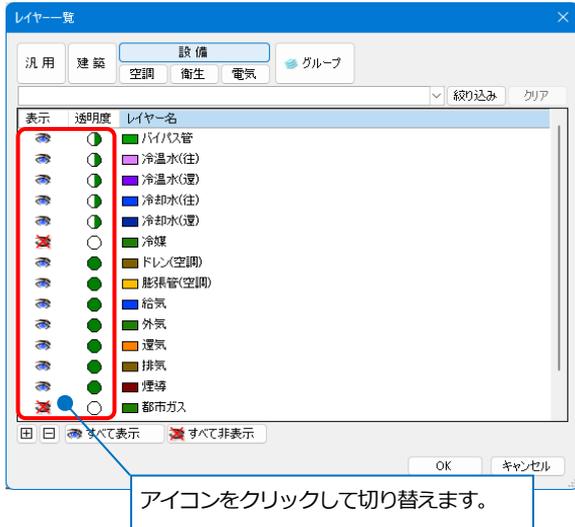


要素選択モード中はコンテキストメニューの項目が絞られ、プロパティを開いても要素の選択状態が維持されます。



レイヤー

CG 画面上でのレイヤーの表示/非表示、透明度を設定できます。



[表示]のアイコンをクリックして、設定を変更します。

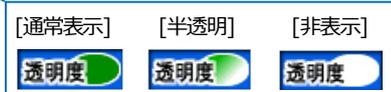
- 表示
- 非表示

[透明度]はアイコンのクリックで切り替えます。白の割合が多くなると透明度が上がります。

- → →
- 非表示 に切り替えると、透明度のアイコンは になります。

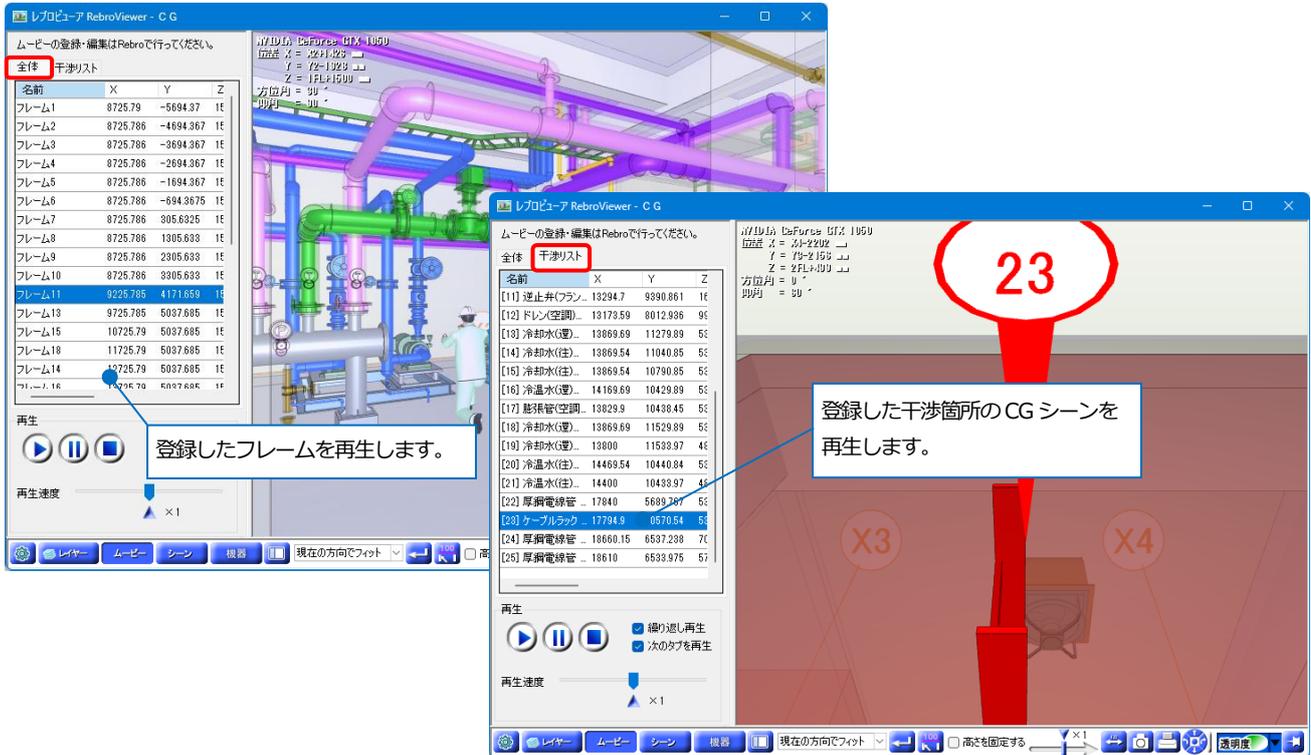


[透明度]をクリックすると、[レイヤー一覧]で半透明に設定したレイヤーの [通常表示]/[半透明]/[非表示]を切り替えることができます。



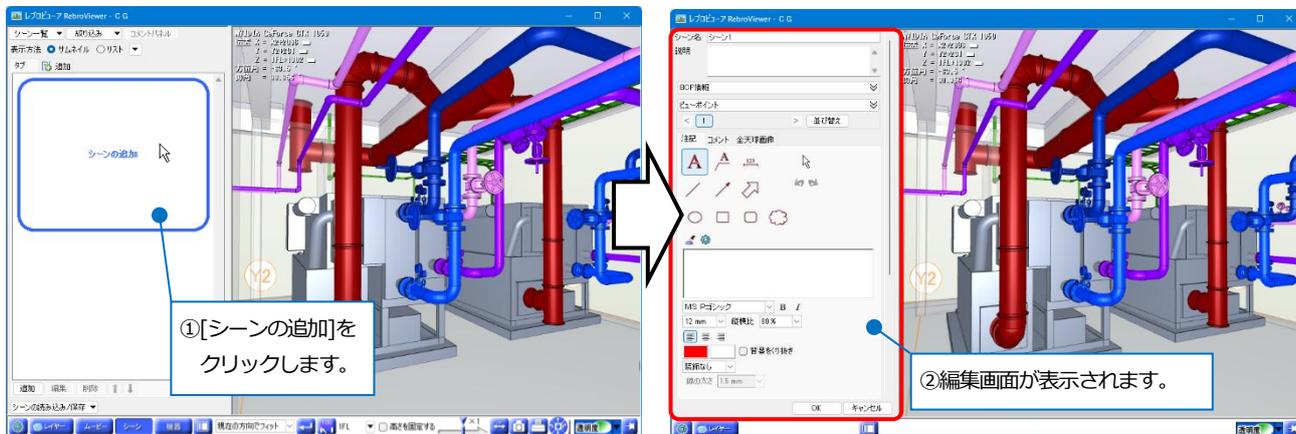
ムービー

レプロで作成したムービー、[干渉検査]で出力した[CG ムービー出力]を再生することができます。

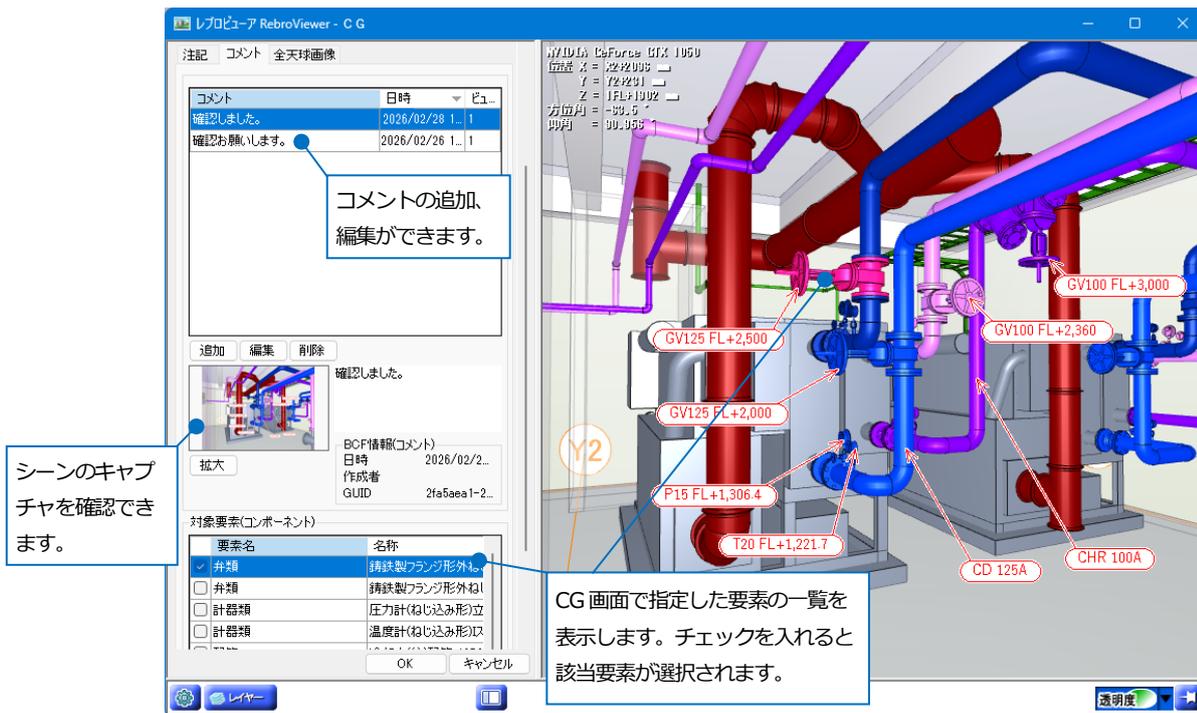


シーン

現在表示している CG 画面をシーンとして登録し、[注記]タブで文字や寸法線、図形を書きこむことができます。登録したシーンは印刷することや、保存してレブロに受け渡しをすることができます。



[コメント]タブからシーンに関するコメントのやりとりができます。レブロへの受け渡しや BCF で保存/読み込みをすると他 CAD に受け渡すこともできます。



機器

配置された部材の位置をCG、図面上で確認できます。

① 機器ツリーから部材を選択します。
機器番号で検索をすることもできます。

② 選択した部材が見える位置に画面が移動します。

プロパティ 台数 ハイパーリンク

[プロパティ]
選択した部材のプロパティ情報を確認できます。

[台数]
選択した部材の台数一覧を表示します。

[ハイパーリンク]
機器に設定されているハイパーリンクを開くことができます。(ハイパーリンクについてはp.31 参照)

項目名	値
機器番号	PAC-1
棟番号	
名称	4方向カセット形 ビル用...
型番	140形
メーカー名	
相	単相
電圧[V]	200

③ 検索パネルに選択した部材が表示され、図面上では丸マークと引出し線で要素の位置が確認できます。

[CG Parts]

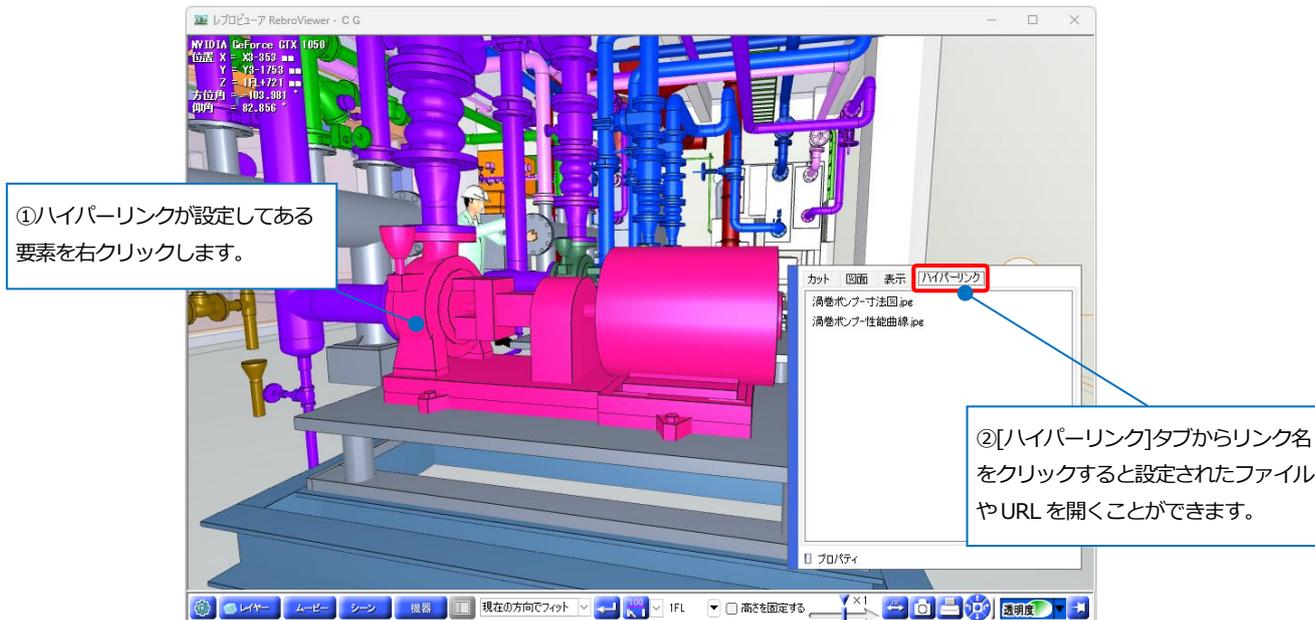
検索対象 キーワード 表示方法

検索結果 1件 クリア

4方向カセット形 ビル用マルチエアコン 140形
【レイヤー】機器器具：空調機器
1FL+2500、X3-1800、Y2-827
【機器番号】PAC-1
【メーカー名】

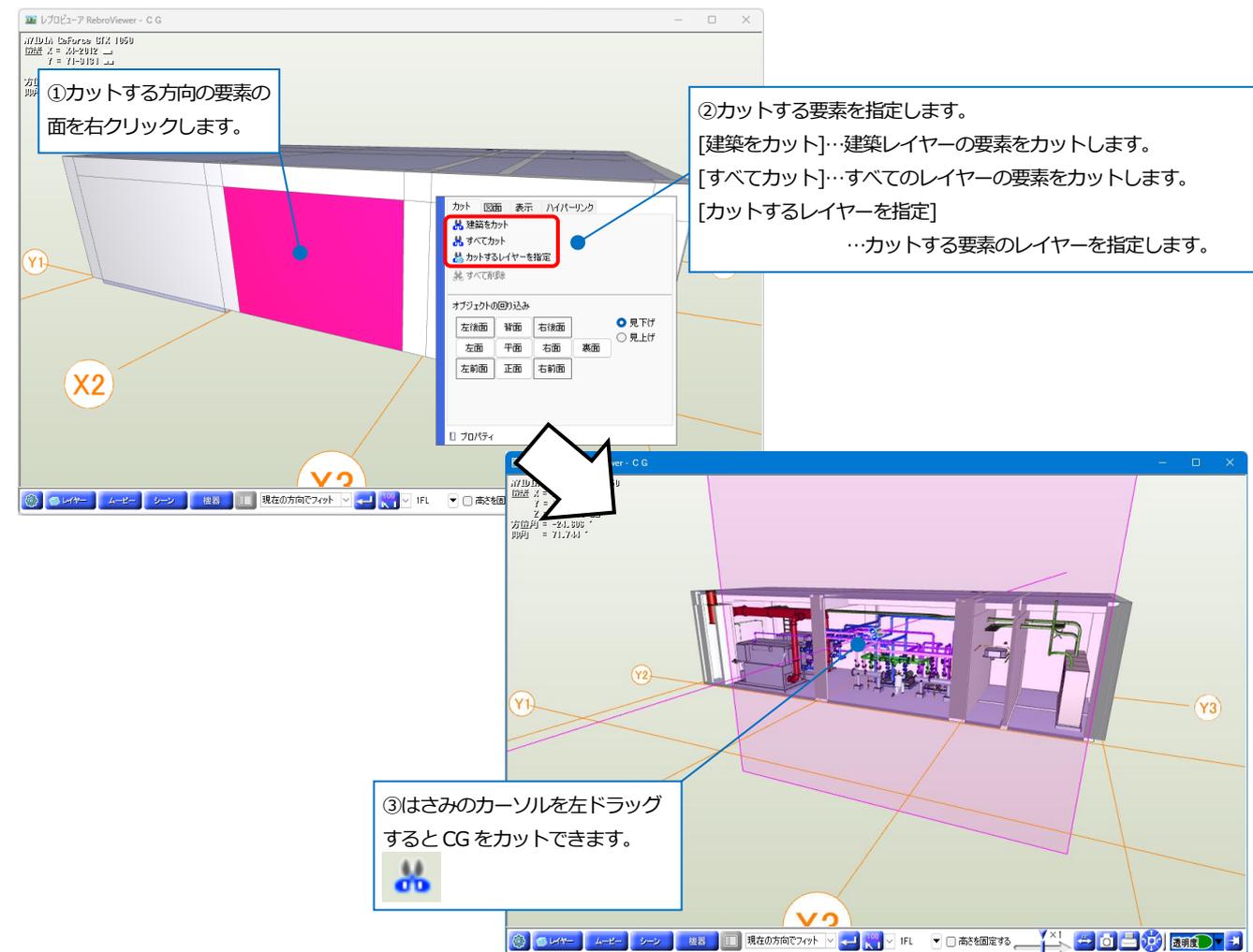
ハイパーリンク

ハイパーリンクを設定している機器は、CG上でリンク先のファイルやURLを参照することができます。



断面カット

CG上で要素をカットして断面を表示することができます。



設定

[設定]  で、CG 画面上での表示、動作の設定ができます。



「描画モード」について

[高速クオリティモード]…クオリティモードの画質を保ちながら描画の途中でも画面の移動ができます。

[クオリティモード]…全ての要素を表示してから画面の移動を行います。

[パフォーマンスモード]…画面描画の途中でも画面の移動ができます。



5.印刷

印刷

①[印刷]をクリックします。

②プリンタを選択します。

③[出力設定]で印刷時の色と部数を選択します。
[印刷スケールに合わせて線種、太さを変倍する]のチェックを外すと、印刷スケールに関わらず作図時の線種、太さで印刷します。
[通り芯記号をフィットする]にチェックを入れると、印刷範囲外の通り芯記号を印刷範囲内にフィットして印刷します。

④[用紙設定]で印刷する用紙サイズ、印刷方向を選択します。

⑤[印刷スケール]で図面の拡大率を選択します。

⑥[印刷]をクリックします。

[印刷範囲の変更]を選択すると、図面に戻り、マウスで印刷サイズと位置を指定します。

[ペン設定]の[太さ]タブで、印刷時に縮尺ごとの線太さを変更して印刷することができます。
[色]タブで要素の色ごとに、印刷時の色を変更して印刷することができます。

縮尺ごとの印刷太さ

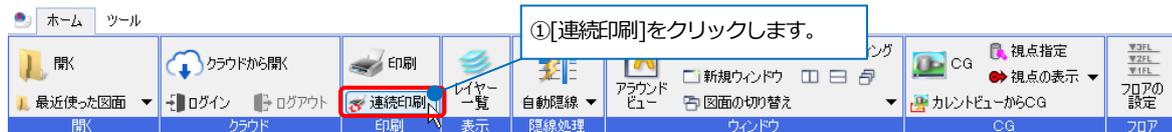
図面上の色

印刷時の色

太さ	備考	~1/10	1/20	1/30	1/50	1/100	1/200	1/300	1/400	1/500	1/600	1/601~
0.01mm	建築図	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
0.05mm		0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
0.07mm		0.07	0.07	0.07	0.07	0.07	0.07	0.07	0.07	0.07	0.07	0.07
0.09mm		0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09
0.10mm		0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
0.13mm		0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13
0.15mm		0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15
0.18mm		0.18	0.18	0.18	0.18	0.18	0.18	0.18	0.18	0.18	0.18	0.18

連続印刷

複数のレブロ図面のレイアウトをまとめて印刷することができます。



②プリンタを選択します。

③[ファイルの追加]で複数の図面ファイルを選択します。横の[▼]からフォルダを指定して図面ファイルをまとめて選択することもできます。

④印刷するレイアウトにチェックを入れます。

⑤[印刷]をクリックします。

連続印刷

プリンタ名: [選択済み] プロパティ ペン設定 オフセットの設定

出力設定

印刷スケール: 等倍 用紙にフィット

紙設定

用紙サイズ: A4 (210 x 297 mm)

用紙方向: 縦 横

給紙トレイ: 手差し

印刷スケール

図面サイズ: A1 (841mm x 594mm)

マーク: マーク① マーク② マーク③ マーク④

ファイルの追加 ▼ ファイルの削除 すべて削除

ファイル名	レイアウト名	図面サイズ	マーク	状態
<input checked="" type="checkbox"/> 機械室サンプル図面.reb	レイアウトグループ1-平面全体図	A1 (841mm x 594mm)	マーク①	
<input checked="" type="checkbox"/> 機械室サンプル図面.reb	レイアウトグループ1-配管断面図	A1 (841mm x 594mm)	マーク①	
<input checked="" type="checkbox"/> 機械室サンプル図面.reb	レイアウトグループ1-ダクト断面図	A1 (841mm x 594mm)	マーク①	
<input checked="" type="checkbox"/> 機械室サンプル図面.reb	レイアウトグループ1-機器配置図	A1 (841mm x 594mm)	マーク①	

すべて選択 すべて解除 図面数 (4)

印刷 閉じる

RebroViewer 操作ガイド 〈2026年3月24日 第20版〉

「Rebro」は日本およびその他の国における株式会社NYKシステムズの登録商標です。「Rebro」及び「Rebro Viewer」は株式会社NYKシステムズの著作物であり、「Rebro」及び「Rebro Viewer」にかかる著作権、その他の権利は株式会社NYKシステムズに帰属します。本製品の一部または全部を複写、改変することはその形態を問わず禁じます。「Rebro D」はダイキン工業株式会社の許諾を受けた「ライセンスシェアモジュール」を使用しています。

Windows 11 は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。InfPoints®は株式会社エリジオンの登録商標です。みつもりくん®は株式会社コンプケアの登録商標です。Revit®、Autodesk Construction Cloud®はオートデスク株式会社の登録商標です。Box®は Box, Inc. の登録商標です。Dropbox®は Dropbox, Inc. の登録商標です。Luminous Planner™はパナソニック株式会社の商標です。DK-BIM はダイキン工業株式会社の登録商標です。SPIDERPLUS®はスパイダープラス株式会社の登録商標です。CheX®は株式会社 YSL ソリューションの登録商標です。MEL-BIM は三菱電機株式会社の登録商標です。GyroEye は株式会社インフォマティクスの登録商標です。BIMcloud®は GRAPHISOFT SE の登録商標です。BIMXD®は株式会社 Nexceed の登録商標です。Catenda Hub は Catenda AS の登録商標です。B-LOOP®は株式会社イズミコンサルティングの登録商標です。Qrespo®は河村電器産業株式会社の登録商標です。ANDPAD®は株式会社アンドパッドの登録商標です。ダクターはネグロス電工株式会社の登録商標です。その他の製品名は各社における登録商標、または商標です。BLCJ BIM オブジェクト標準「BLCJ 標準」および、設備 CAD データ交換仕様「BE-Bridge」および、設備機器ライブラリデータ交換仕様「Stem」は、BIM ライブラリ技術研究組合の著作物です。本製品は Open Design Alliance との使用許諾契約に従って Open Design Alliance ソフトウェアが組み込まれています。(This application incorporates Open Design Alliance software pursuant to a license agreement with Open Design Alliance. Open Design Alliance Copyright (C) 2002-2019 by Open Design Alliance. All rights reserved.)

本製品は、RDF Ltd. の「IFC Engine™」、アドバンスソフトウェア株式会社の「VB-Report 7」、Tracker SoftWare Products の「PDF-XChange PRO SDK」、CodePlex の「DotNetZip Library」、XLSOFT の「SpreadSheetGear®」をそれぞれの再配布条件に基づき使用しています。本製品には清水建設株式会社の許可の下、特許(第 6384709 号)が使用されています。本製品にはデータ提供の契約書もしくは覚書に基づき、TOTO 株式会社、株式会社 LIXIL から提供を受けた形状データに、弊社で属性情報を付け加えた部材が含まれています。形状データは外形上の特徴を損なわない範囲でデータ容量の軽減を行っております。インストール環境の「LPBatch」フォルダ以下はパナソニック株式会社の使用許諾に基づいて使用しています。